

**CITIZEN バーコードラベルプリンタ
Windows ドライバガイド**

Ver. 7.3.3 M-0 (2013.06.27) 用

シチズン・システムズ株式会社

更新履歴

年月日	レビジョン	履歴
2009/07/15	Rev1. 00	新規
2010/11/08	Rev1. 01	CL-S520, 620, 630 リリースに伴い各章に説明を追加 Windows7 対応に伴い各章に説明を追加 ステータスマonitoring機能の説明およびサンプルプログラムを追加
2011/06/21	Rev1. 02	CL-S400DT リリースに伴い各章に説明を追加
2011/06/29	Rev1. 03	CL-S530 リリースに伴い各章に説明を追加
2012/10/01	Ver7. 3. 1 M-1	対応オペレーティングシステムに Windows8 及び Windows Server2012 を追加
2013/06/27	Ver7. 3. 3 M-0	海外モデル CL-S3xx シリーズ追加（日本国内非対応）

目次

1. 動作環境.....	5
1-1. 対象オペレーティングシステム.....	5
1-2. 対象モデル.....	5
1-3. 対象インターフェース.....	5
2. インストールとアンインストール.....	6
2-1. インストール.....	6
2-2. アンインストール.....	12
3. プロパティの表示.....	15
3-1. プロパティ表示.....	15
4. 印刷の設定.....	16
4-1. 印刷設定プロパティ.....	16
用紙プロパティ.....	17
グラフィックプロパティ.....	20
ラベル用紙プロパティ.....	23
オプションプロパティ.....	25
情報プロパティ.....	26
5. フォントの設定.....	28
5-1. フォントプロパティ.....	28
フォントのダウンロード.....	28
新規ユーザー定義オプションフォント.....	32
新規フォント変換.....	35
新規バーコードフォント.....	36
5-2. 表示.....	38
5-3. ツール.....	39
ダウンロードしたフォントの再送信.....	39
インストール済み機能.....	39
フォントオプション.....	40
ドライバオプション.....	40
6. ドライバツール.....	41
6-1. ツールプロパティ.....	41
プリンタ.....	41
ドライバ.....	43
7. アプリケーションからの印刷.....	49
7-1. プリンタフォントリスト.....	49
7-2. プリンタバーコードフォントリスト.....	51
7-3. Microsoft Word からの印刷.....	52
7-4. Microsoft Visual Basic サンプルプログラム.....	54

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、事前の予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 上記に同意いただけない場合は、本ドライバをご使用いただけません。

商標

Microsoft、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Server 2012、Word 2003、Visual Basic 6.0 は、米国 Microsoft Corporation (あるいは米国マイクロソフト・コーポレーション) の米国およびその他の国における登録商標です。(Windows の正式名称は Microsoft Windows Operating System です)

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

CITIZEN は、シチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

1. 動作環境

1-1. 対象オペレーティングシステム

本ドライバは、以下の Microsoft Windows オペレーティングシステムの 32 ビット(X86)および 64 ビット(x64)エディションに対応しています。

Windows XP, Windows Vista, Windows 7, Windows8,
Windows Server 2003, Windows Server 2008, Windows Server2012

1-2. 対象モデル

本ドライバの対象モデルは以下の通りです。各モデルの詳細につきましては、取扱説明書をご参照下さい。

モデル名	ドライバ名	解像度	印刷方式	メディアセンサー	メディアセンサー位置	オプション機能
CLP-2000	Citizen CLP-2000	203DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CLP-7000	Citizen CLP-7000	203DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	前方(固定) 後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CLP-7200	Citizen CLP-7200	203DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	前方(固定) 後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CLP-7400	Citizen CLP-7400	406DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	前方(固定) 後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CLP-520	Citizen CLP-520	203DPI	感熱	ギャップ マーク	後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CLP-620	Citizen CLP-620	203DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CLP-630	Citizen CLP-630	300DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CL-S400DT	Citizen CL-S400DTJ	203DPI	感熱	ギャップ マーク	後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CL-S520	Citizen CL-S520	203DPI	感熱	ギャップ マーク	後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CL-S530	Citizen CL-S530	300DPI	感熱	ギャップ マーク	後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CL-S620	Citizen CL-S620	203DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CL-S630	Citizen CL-S630	300DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CL-S700	Citizen CL-S700J	203DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	前方(固定) 後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CL-S700R	Citizen CL-S700J	203DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	前方(固定) 後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー リワインダー
CL-S703	Citizen CL-S703J	300DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	前方(固定) 後方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー
CLP-8300	Citizen CLP-8300	300DPI	感熱 熱転写	ギャップ マーク	前方(アジャスタブル)	オートカッター ピーラー

1-3. 対象インターフェース

本ドライバの対象インターフェースは以下の通りです。

- ・ シリアル
- ・ パラレル (双方向モード・片方向モード)
- ・ USB (プリンタクラスモード・仮想 COM モード)
- ・ イーサネット

注意事項

■ シリアルインターフェース接続

シリアルインターフェース接続では、PC とプリンタとの間で通信条件が一致していることをご確認下さい。

■ パラレルインターフェース接続

プリンタのパラレルインターフェースモードのデフォルト設定は、IEEE1284 有効(双方向モード)となっています。IEEE1284 無効(片方向モード)でご使用になる際は、プリンタのメニュー設定でのモード変更が必要です。モードの変更方法につきましては、プリンタの取扱説明書をご参照下さい。

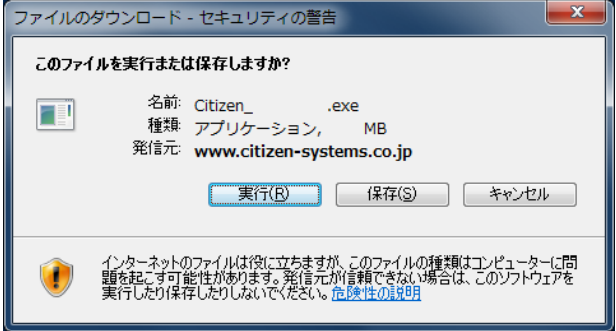
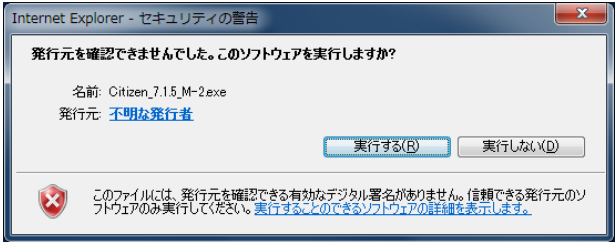

■ USB 仮想 COM 接続

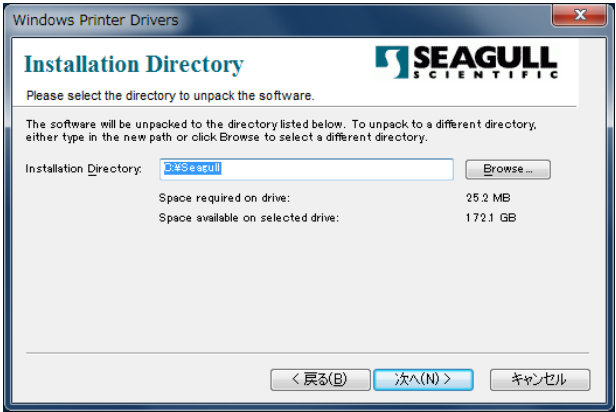
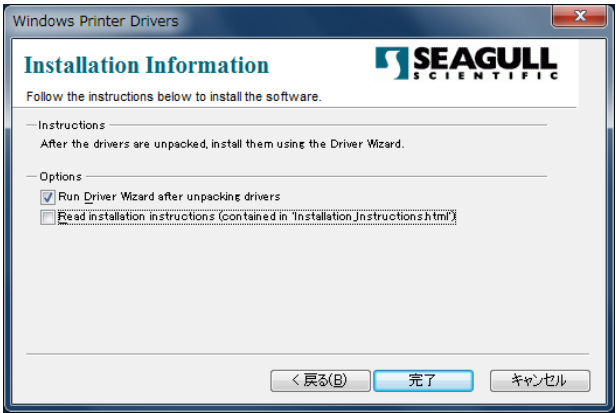
USB インターフェースを仮想 COM モードでご使用になる際は、本ドライバをインストールする前に、プリンタのメニュー設定でのモード変更と、USB 仮想 COM ドライバをインストールする必要があります。USB 仮想 COM モードの変更方法につきましては、プリンタの取扱説明書をご参照下さい。また、USB 仮想 COM ドライバのインストール方法につきましては、仮想 COM ドライバインストールガイドをご参照下さい。

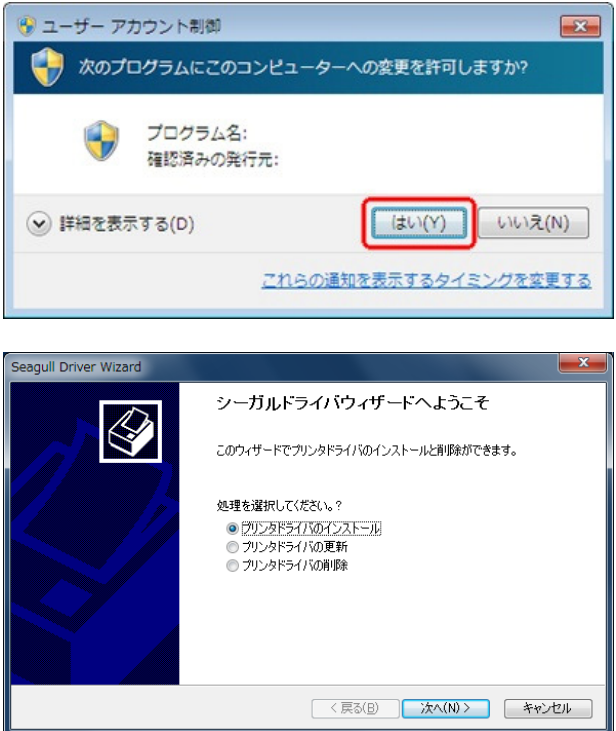
2. インストールとアンインストール

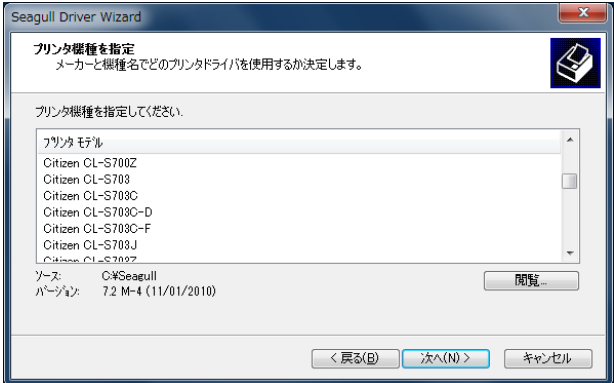
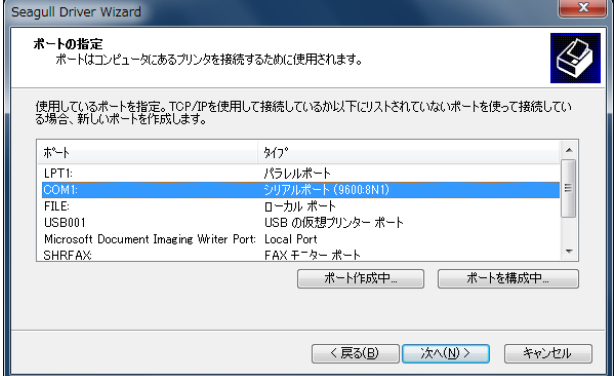

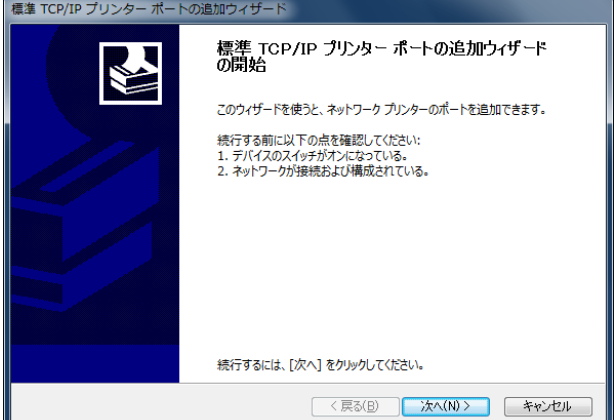
2-1. インストール

ここでの説明は Windows 7 を例に取りますが、他の Windows でも、ほぼ同じ方法となります。尚、古いドライバがインストールされている環境では、事前にアンインストールを行う必要があります。

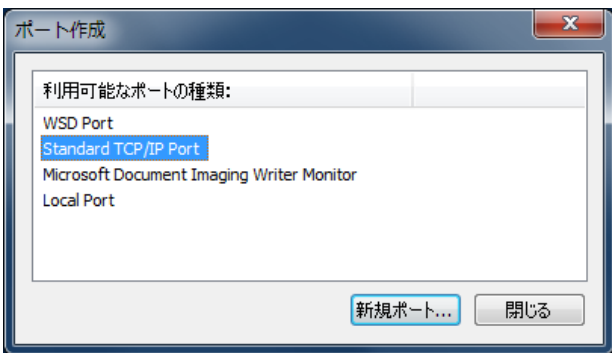
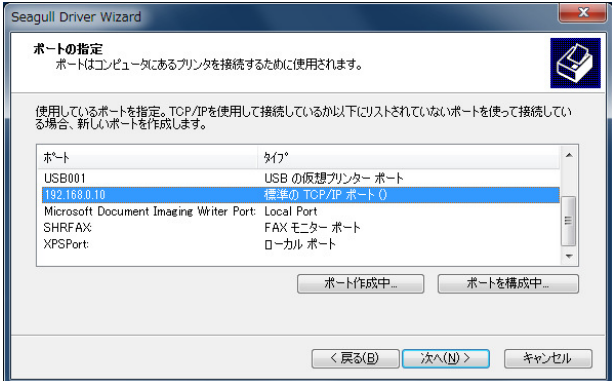
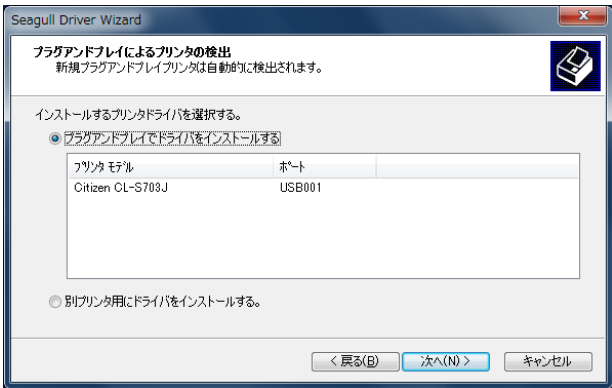
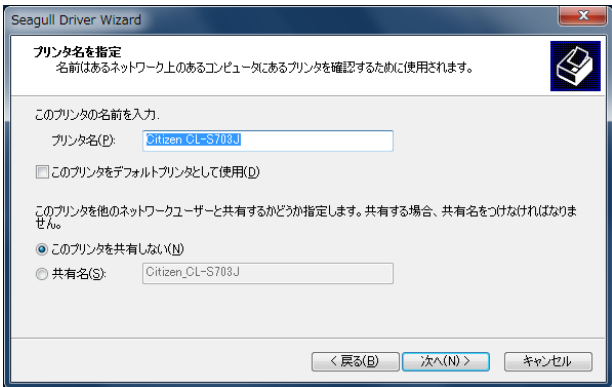
ドライバの解凍		
	手順	表示
1	シチズン・システムズのプリンタドライバのダウンロードサイトより、「バーコードプリンタ向け Windows ドライバ」をダウンロードします。 (自己解凍型圧縮ファイル) http://www.citizen-systems.co.jp/support/download/printer/driver/ 「実行(R)」ボタンを押下します。	
2	次のウィンドが表示されたら、「実行する(R)」ボタンを押下します。	
3	ドライバの使用許諾ウィンドが表示されます。同意されたら、上側のラジオボタン「I accept the terms in the license agreement」を選択し、「次へ(N)」ボタンを押下します。同意されない場合は、下側のラジオボタン「I do not accept the terms in the license agreement」を選択し、解凍作業を中断します。	

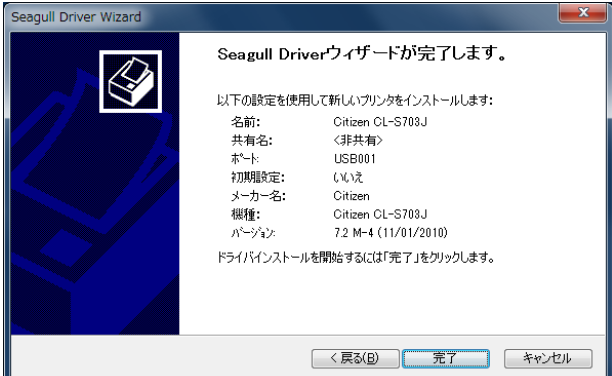
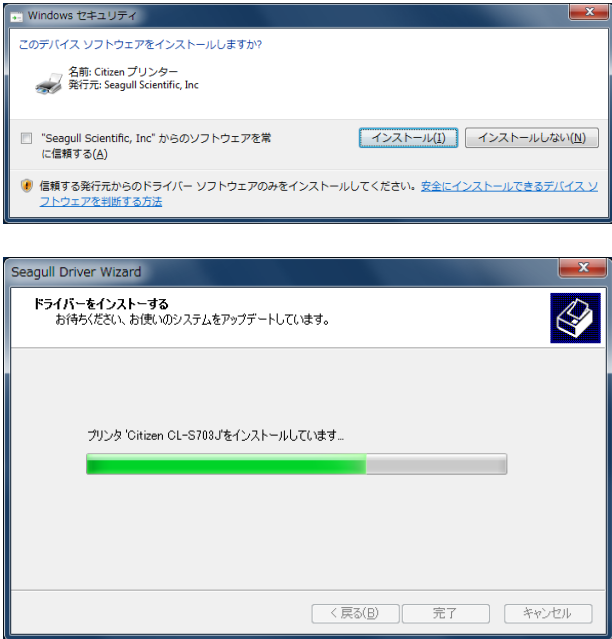
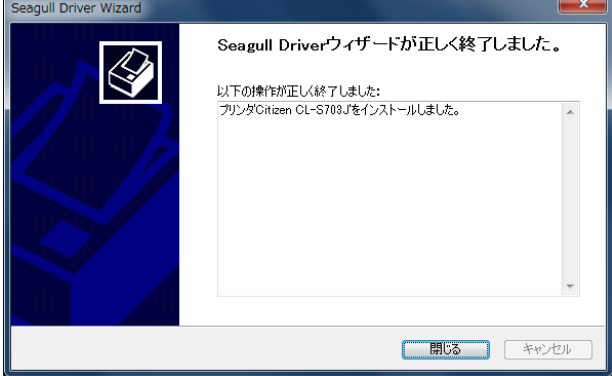
<p>4</p>	<p>ドライバの解凍先フォルダを指定します。 「次へ(N)」ボタンを押下するとドライバの解凍が始まります。</p>	
<p>5</p>	<p>「Run Driver Wizard after unpacking driver」にチェックを入れます。</p> <p>「Read installation instructions(...)」のチェックを外します。</p> <p>「完了」ボタンを押下します。</p> <p>これでドライバの解凍作業は終了です。 手順 6 より、ドライバのインストール作業に入ります。</p> <p>USB・双方向パラレル接続 パソコンとプリンタをケーブル接続し、プリンタの電源を投入して下さい。</p> <p>シリアル・片方向パラレル・イーサネット接続 プリンタの電源は切れていても構いません。</p>	

ドライバのインストール		
	手順	表示
<p>6</p>	<p>「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか?」のメッセージダイアログが表示された場合は、「はい(Y)」を押下して下さい。</p> <p>ドライバウィザードウィンドが表示されます。 「プリンタドライバのインストール」にチェックを入れ、「次へ(N)」ボタンを押下します。</p> <p>USB・双方向パラレル接続 手順 14 に進んでください。</p> <p>シリアル・片方向パラレル・イーサネット接続 手順 7 に進んでください。</p>	

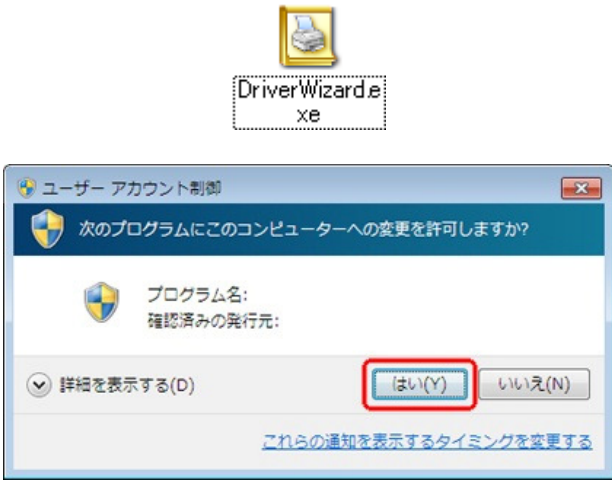
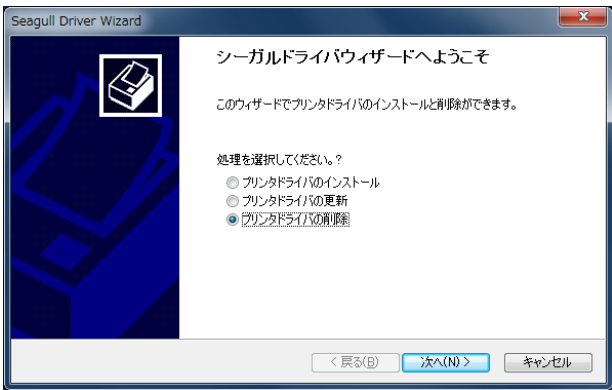
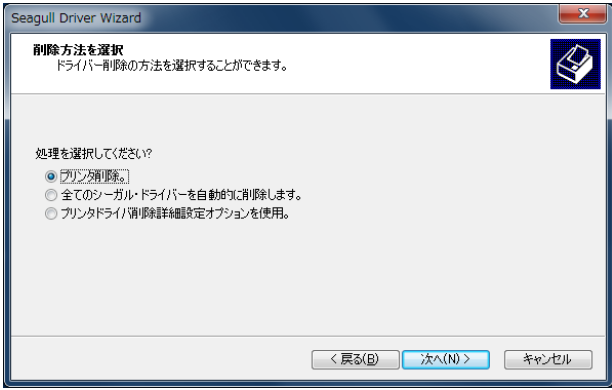
<p>7</p>	<p>シリアル・片方向パラレル・イーサネット接続 プリンタモデルを選択し、「次へ(N)」ボタンを押下します。</p>	
<p>8</p>	<p>シリアル・片方向パラレル接続 シリアルポートを指定する場合は、COM*を選択します。パラレルポートを指定する場合は、LPT*を選択します。 「次へ」ボタンを押下し、手順 15 に進んで下さい。</p> <p>イーサネット接続 「ポート作成中」のボタン押下し、手順 9 に進んで下さい。</p>	
<p>9</p>	<p>イーサネット接続 「ポート作成」のウィンドが表示されます。 「Standard TCP/IP Port」を選択し、「新規ポート...」を押下します。</p>	
<p>10</p>	<p>イーサネット接続 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」のウィンドが表示されます。</p> <p>ここで、プリンタの電源を投入しネットワークに接続して下さい。</p> <p>「次へ(N)」ボタンを押下します。</p>	

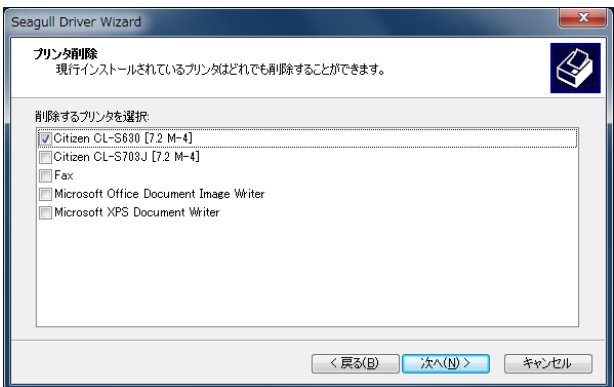

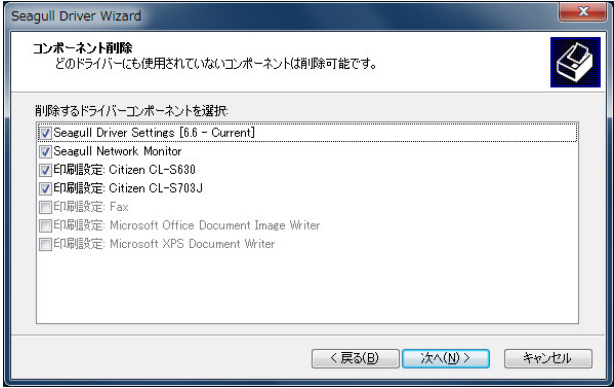
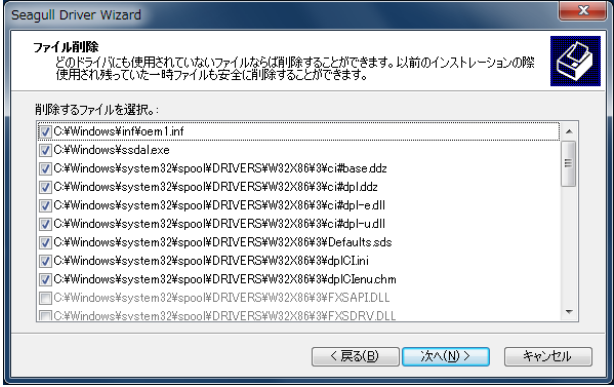
<p>11</p>	<p>イーサネット接続 「プリンタ名または IP アドレス(A):」にプリンタ名 またはプリンタの IP アドレスを入力します。 「ポート名(P):」は、上記入力と同時に自動入力 されます。 「次へ(N)」ボタンを押下します。</p>	
<p>12</p>	<p>イーサネット接続 「TCP/IP ポートの検出ウィンド」が表示されま す。この検出処理が完了するまでに数分かかる 場合があります。 プリンタの TCP/IP ポートが何らかの原因で検 出されないと、 「追加のポート情報が必要です」のウィンドが表 示されます。 「デバイスの種類」の項目で、「標準」を選択し、 「Generic Network Card」を選択します。 ※ポート設定が必要な場合は、「カスタム」を選 択し、「設定(E)」ボタンを押下します。 「次へ(N)」ボタンを押下します。 プリンタの TCP/IP ポートが正しく検出されると、 「標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザ ードの完了」が表示されます。 「完了」ボタンを押下します。</p>	

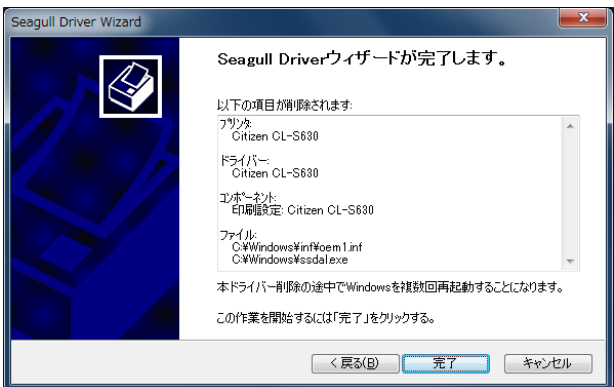
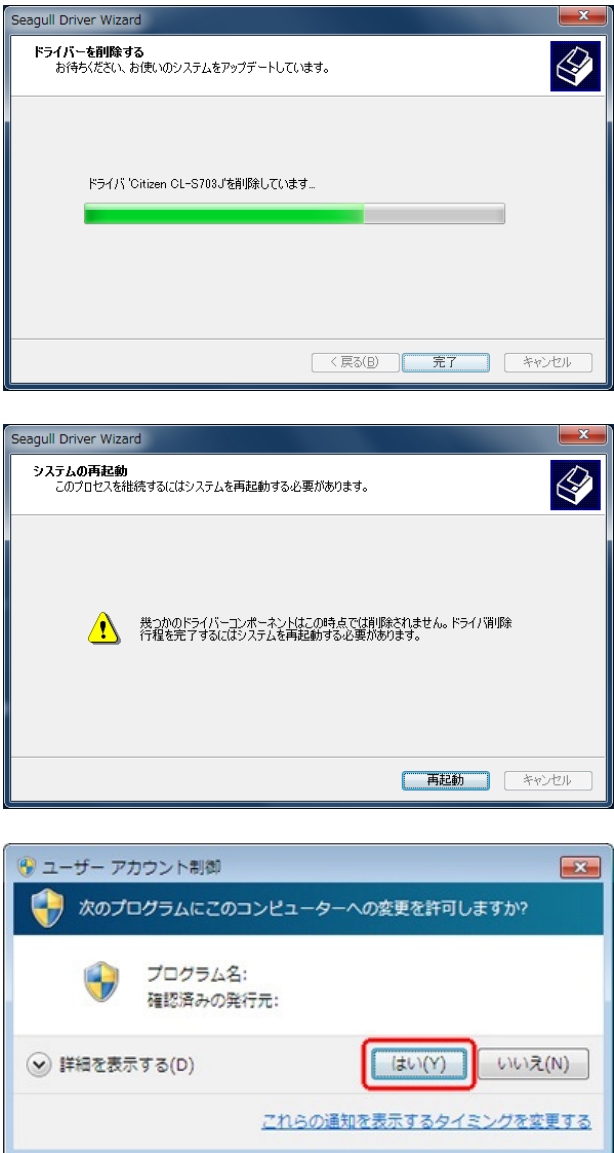
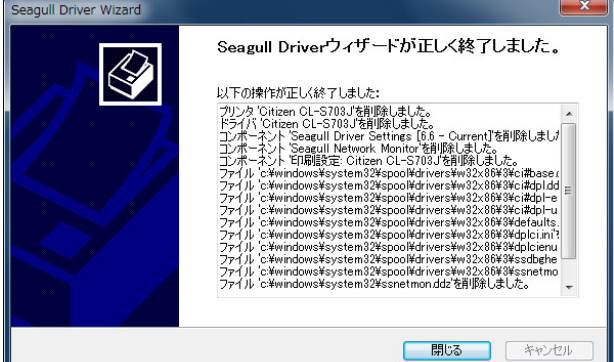
<p>13</p> <p>イーサネット接続 「ポート作成」ウィンドに戻ります。 「閉じる」ボタンを押下します。</p> <p>すると、「ポートの指定」ウィンドに作成されたイーサネットポートが追加されます。 「次へ(N)」ボタンを押下し、手順 15 に進んで下さい。</p>	 
<p>14</p> <p>USB・双方向パラレル接続 「プラグアンドプレイによるプリンタの検出」のウィンドが表示されます。</p> <p>パソコンに接続されたプリンタ名が表示されていることを確認し、「プラグアンドプレイでドライバをインストールする」にチェックを入れ、「次へ(N)」ボタンを押下します。</p> <p>手順 15 に進んで下さい。</p>	
<p>15</p> <p>USB・双方向/片方向パラレル・シリアル・イーサネット接続 次の作業を行い「次へ(N)」ボタンを押下します。</p> <p>①「プリンタ名(P)」にプリンタ名を入力します。 ②デフォルトプリンタとして使用する場合は、「このプリンタをデフォルトプリンタとして使用(D)」にチェックを入れます。 ③ネットワーク環境でこのプリンタを共有する場合は、「共有名(S)」を選択し、共有名を入力します。</p>	

16	<p>USB・双方向/片方向パラレル・シリアル・イーサネット接続</p> <p>ドライバウィザードの完了を示すウィンドが表示されます。</p> <p>設定された項目を確認の上、「完了」ボタンを押下します。</p>	 <p>Seagull Driver Wizard</p> <p>Seagull Driverウィザードが完了します。</p> <p>以下の設定を使用して新しいプリンタをインストールします:</p> <table border="0"> <tr><td>名前:</td><td>Citizen CL-S703J</td></tr> <tr><td>共有名:</td><td><非共有></td></tr> <tr><td>ポート:</td><td>USB001</td></tr> <tr><td>初期設定:</td><td>\\.\</td></tr> <tr><td>メーカー名:</td><td>Citizen</td></tr> <tr><td>機種:</td><td>Citizen CL-S703J</td></tr> <tr><td>バージョン:</td><td>7.2 M-4 (11/01/2010)</td></tr> </table> <p>ドライバインストールを開始するには「完了」をクリックします。</p> <p>< 戻る(B) 完了 キャンセル</p>	名前:	Citizen CL-S703J	共有名:	<非共有>	ポート:	USB001	初期設定:	\\.\	メーカー名:	Citizen	機種:	Citizen CL-S703J	バージョン:	7.2 M-4 (11/01/2010)
名前:	Citizen CL-S703J															
共有名:	<非共有>															
ポート:	USB001															
初期設定:	\\.\															
メーカー名:	Citizen															
機種:	Citizen CL-S703J															
バージョン:	7.2 M-4 (11/01/2010)															
17	<p>USB・双方向/片方向パラレル・シリアル・イーサネット接続</p> <p>「このデバイスソフトウェアをインストールしますか?」のウィンドウが表示されたら、「インストール(I)」を押下します。</p> <p>ドライバのインストールが開始します。進捗を示すウィンドが表示されます。</p>	 <p>Windows セキュリティ</p> <p>このデバイスソフトウェアをインストールしますか?</p> <p>名前: Citizen プリンター 発行元: Seagull Scientific, Inc</p> <p><input type="checkbox"/> "Seagull Scientific, Inc" からのソフトウェアを常に信頼する(A) インストール(I) インストールしない(N)</p> <p>信頼する発行元からのドライバー ソフトウェアのみをインストールしてください。 安全にインストールできるデバイスソフトウェアを判断する方法</p> <hr/> <p>Seagull Driver Wizard</p> <p>ドライバーをインストールする お待ちください、お使いのシステムをアップデートしています。</p> <p>プリンタ 'Citizen CL-S703J' をインストールしています...</p> <p>< 戻る(B) 完了 キャンセル</p>														
18	<p>USB・双方向/片方向パラレル・シリアル・イーサネット接続</p> <p>インストールの完了を示すウィンドが表示されます。</p> <p>「閉じる」ボタンを押下します。</p> <p>これでインストール作業は終了です。</p>	 <p>Seagull Driver Wizard</p> <p>Seagull Driverウィザードが正しく終了しました。</p> <p>以下の操作が正しく終了しました: プリンタCitizen CL-S703Jをインストールしました。</p> <p>閉じる キャンセル</p>														

2-2. アンインストール

ドライバのアンインストール		表示
	手順	
1	<p>プリンタの電源が OFF、または未接続になっていることを確認し、ドライバを解凍したフォルダより、「DriverWizard.exe」を実行します。</p> <p>「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか?」のメッセージダイアログが表示された場合は、「はい(Y)」を押下して下さい。</p>	
2	<p>ドライバウィザードウィンドが表示されます。「プリンタドライバの削除」にチェックを入れ、「次へ(N)」ボタンを押下します。</p>	
3	<p>プリンタを選択して削除する 「プリンタ削除。」を選択します。 ※登録されたプリンタが削除されるだけで、プリンタドライバそのものは削除されません。 「次へ(N)」ボタンを押下し、手順 4 に進んで下さい。</p> <p>全てのプリンタドライバを削除する 「全てのシーガル・ドライバを自動的に削除します。」を選択します。 ※登録されたプリンタとプリンタドライバを完全に削除し、クリーンな状態にします。 ※印刷に関する設定が全て削除されますので、予め印刷設定のバックアップを行って頂くことを推奨します。 「次へ(N)」ボタンを押下し、手順 6 に進んで下さい。</p> <p>プリンタドライバの削除方法を選択して削除する 「プリンタドライバ削除 詳細設定オプションを使用」を選択します。 ※プリンタのみを削除するか、プリンタドライバそのものを削除するかを選択します。 「次へ(N)」ボタンを押下し、手順 4 に進んで下さい。</p>	

<p>4</p>	<p>プリンタを選択して削除する 削除したいプリンタを選択し、「次へ(N)」ボタンを押下します。 手順 6 に進んで下さい。</p> <p>プリンタドライバの削除方法を選択して削除する 削除したいプリンタを選択し、「次へ(N)」ボタンを押下します。 手順 5 に進んで下さい。</p>	
<p>5</p>	<p>プリンタドライバの削除方法を選択して削除する 「ドライバ削除」ウインドより、削除したいプリンタドライバを選択し、「次へ(N)」ボタンを押下します。</p> <p>「コンポーネント削除」ウインドより、削除したいコンポーネントを選択し、「次へ(N)」ボタンを押下します。</p> <p>※登録されたプリンタとプリンタドライバを完全に削除し、クリーンな状態にします。 ※印刷に関する設定が全て削除されますので、予め印刷設定のバックアップを行って頂くことを推奨します。</p> <p>「ファイル削除」のウインドより、削除したいファイルを選択し、「次へ(N)」ボタンを押下します。</p> <p>手順 6 に進んで下さい。</p>	  

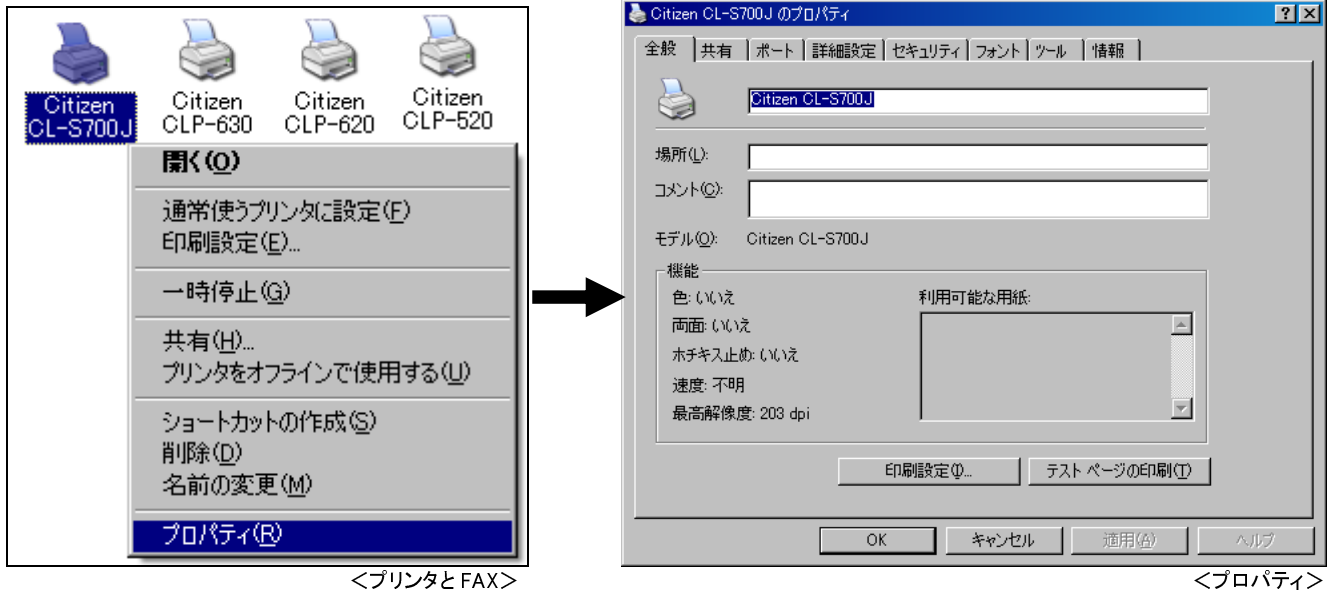
<p>6</p>	<p>選択した項目の一覧が表示されます。 「完了」ボタンを押下してください。</p>	
<p>7</p>	<p>アンインストールの進捗を示すウィンドが表示されます。</p> <p>「システムの再起動」のウィンドが表示された場合は、「再起動」ボタンを押下して下さい。</p> <p>OSが再起動し、「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」のメッセージダイアログが再び表示された場合は、「はい(Y)」を押下して下さい。</p>	
<p>8</p>	<p>アンインストールが正しく終了すると、次のウィンドが表示されます。 「閉じる」ボタンを押下します。</p> <p>これで、アンインストールの作業は終了です。</p>	

3. プロパティの表示

3-1. プロパティ表示

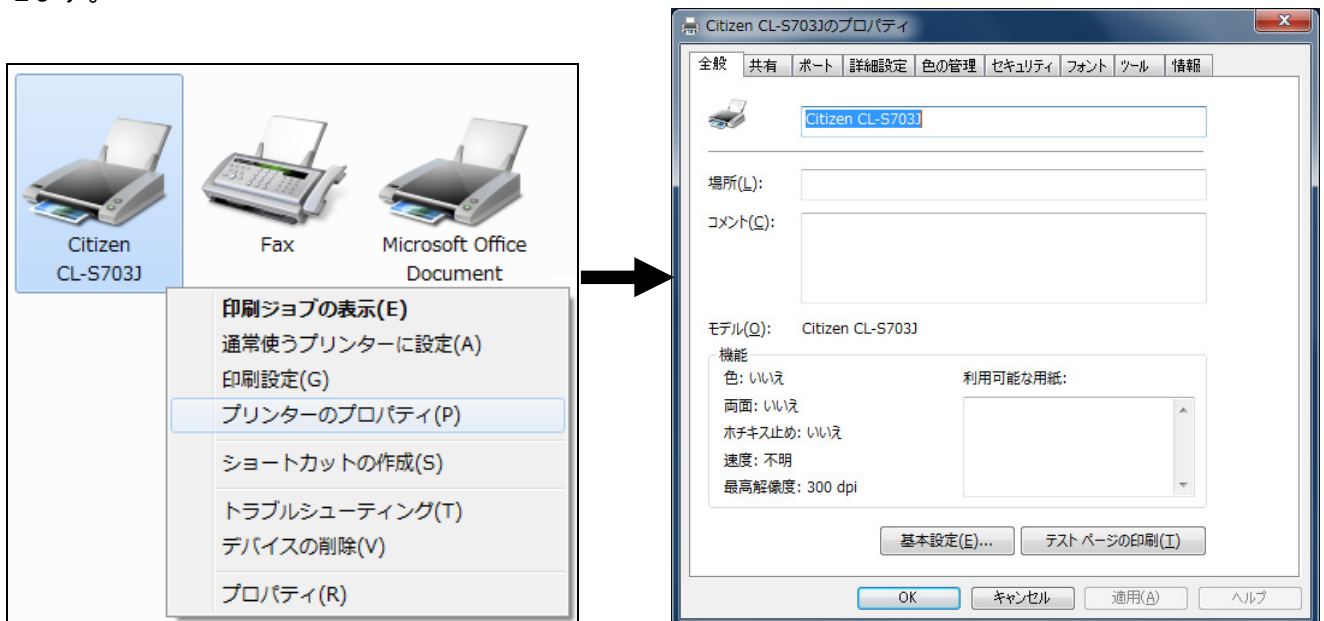
■ Windows XP

コントロールパネルより「プリンタと FAX」を開き、任意のプリンタの「プロパティ」ウィンドを表示させます。



■ Windows 7

コントロールパネルより「デバイスとプリンタ」を開き、任意のプリンタの「プリンターのプロパティ」ウィンドを表示させます。



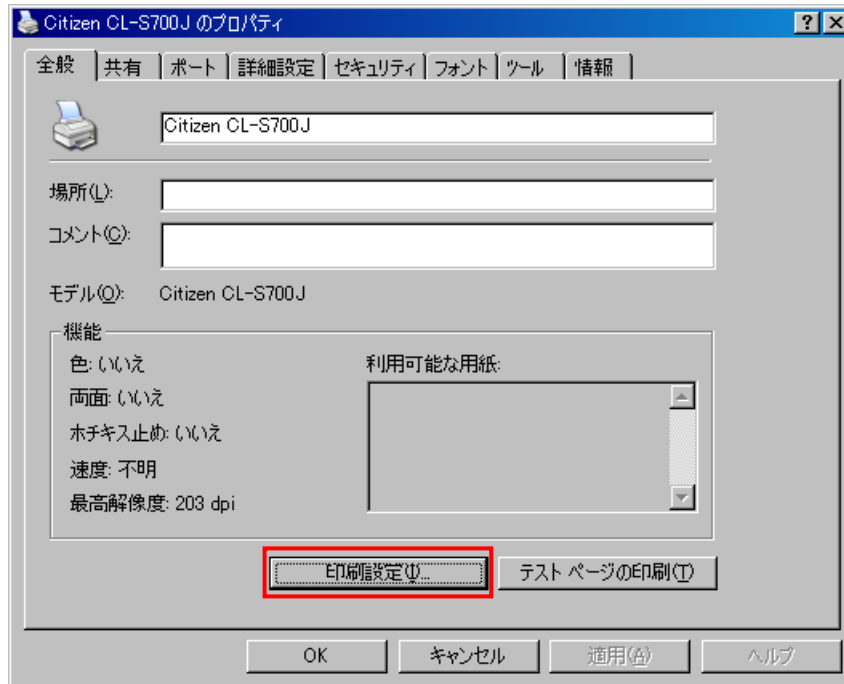
4. 印刷の設定

4-1. 印刷設定プロパティ

「全般」タブを選択し、赤枠のボタンを押下します。

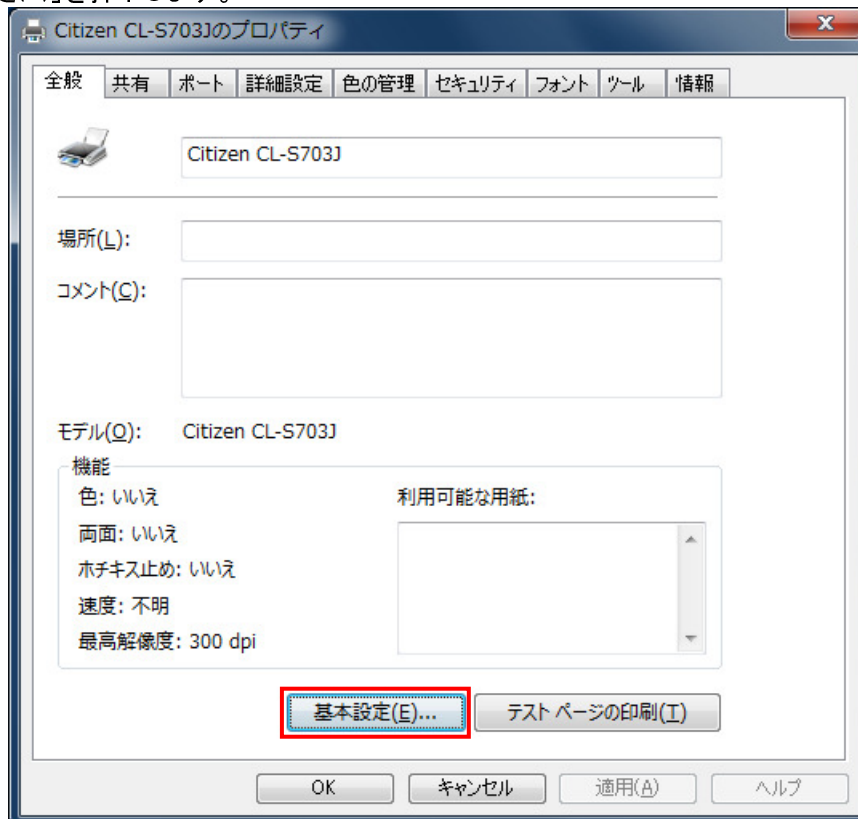
■ Windows XP

「印刷設定(I)」を押下します。



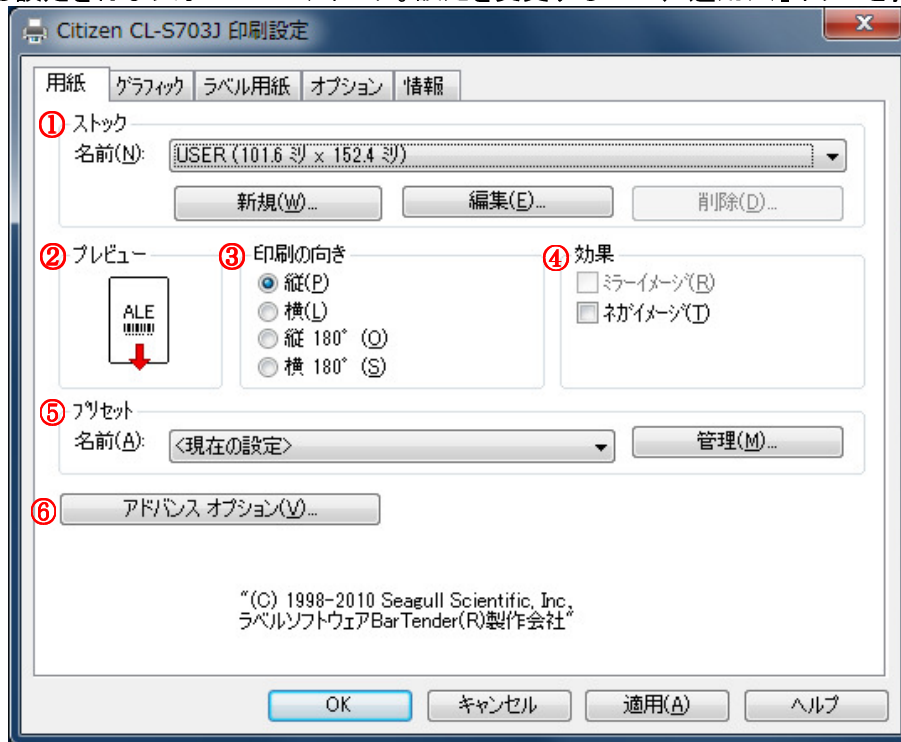
■ Windows 7

「基本設定(E)」を押下します。



用紙プロパティ

用紙に関する設定を行なう為のプロパティです。設定を変更するには、「適用(A)」ボタンを押下します。

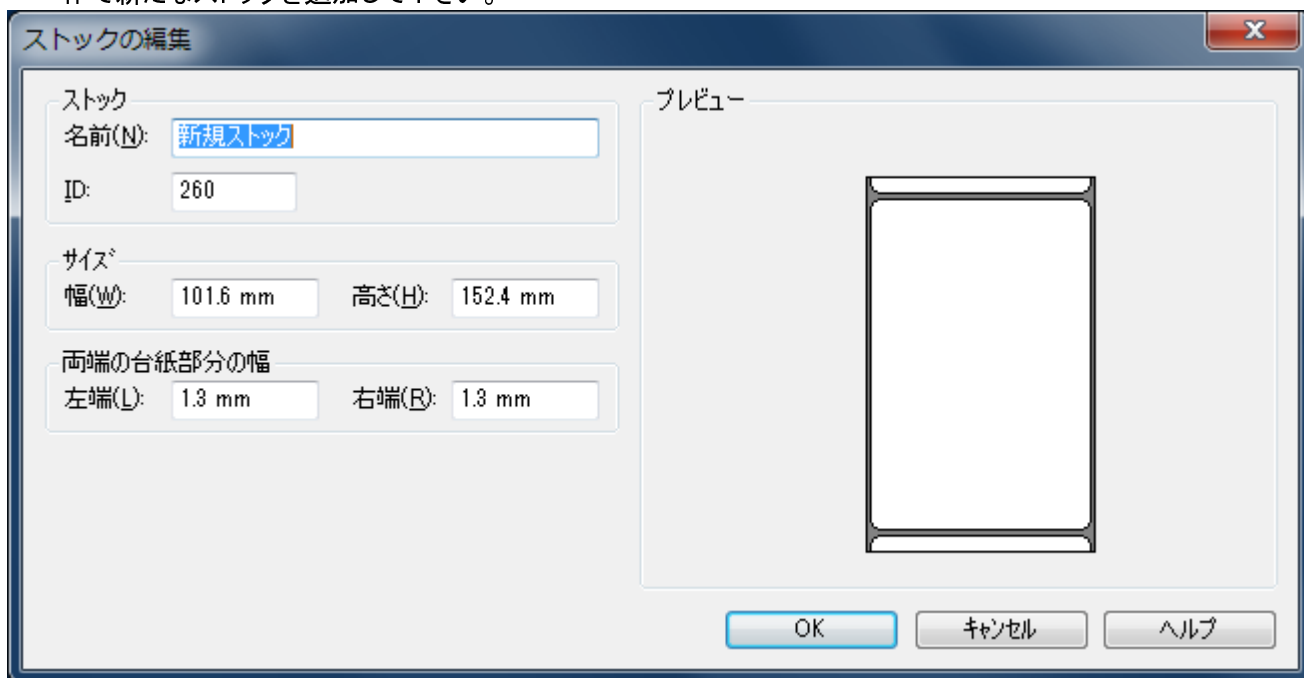


① ストック

ストック項目の[名前(N)]メニューのプルダウンを押下し、用紙サイズを指定します。尚、以下の4種類の用紙がデフォルトでストックされています。

ドライバ名	用紙名 (用紙サイズ)
Citizen CLP-2000	USER (101.6mm x 152.4mm), 2 x 4 (50.8mm x 101.6mm), 4 x 4 (101.6mm x 101.6mm), 4 x 6 (101.6mm x 152.4mm)
Citizen CLP-7000	USER (101.6mm x 152.4mm), 2 x 4 (50.8mm x 101.6mm), 4 x 4 (101.6mm x 101.6mm), 4 x 6 (101.6mm x 152.4mm)
Citizen CLP-7200	USER (101.6mm x 152.4mm), 2 x 4 (50.8mm x 101.6mm), 4 x 4 (101.6mm x 101.6mm), 4 x 6 (101.6mm x 152.4mm)
Citizen CLP-7400	USER (101.6mm x 152.4mm), 2 x 4 (50.8mm x 101.6mm), 4 x 4 (101.6mm x 101.6mm), 4 x 6 (101.6mm x 152.4mm)
Citizen CLP-520	USER (101.6mm x 152.4mm), 2 x 4 (50.8mm x 101.6mm), 4 x 4 (101.6mm x 101.6mm), 4 x 6 (101.6mm x 152.4mm)
Citizen CLP-620	USER (101.6mm x 152.4mm), 2 x 4 (50.8mm x 101.6mm), 4 x 4 (101.6mm x 101.6mm), 4 x 6 (101.6mm x 152.4mm)
Citizen CLP-630	USER (101.6mm x 152.4mm), 2 x 4 (50.8mm x 101.6mm), 4 x 4 (101.6mm x 101.6mm), 4 x 6 (101.6mm x 152.4mm)
Citizen CL-S400DTJ	USER (101.6mm x 152.4mm), 2 x 4 (50.8mm x 101.6mm), 4 x 4 (101.6mm x 101.6mm), 4 x 6 (101.6mm x 152.4mm)
Citizen CL-S520	USER (101.6mm x 152.4mm), 2 x 4 (50.8mm x 101.6mm), 4 x 4 (101.6mm x 101.6mm), 4 x 6 (101.6mm x 152.4mm)
Citizen CL-S530	USER (101.6mm x 152.4mm), 2 x 4 (50.8mm x 101.6mm), 4 x 4 (101.6mm x 101.6mm), 4 x 6 (101.6mm x 152.4mm)
Citizen CL-S620	USER (101.6mm x 152.4mm), 2 x 4 (50.8mm x 101.6mm), 4 x 4 (101.6mm x 101.6mm), 4 x 6 (101.6mm x 152.4mm)
Citizen CL-S630	USER (101.6mm x 152.4mm), 2 x 4 (50.8mm x 101.6mm), 4 x 4 (101.6mm x 101.6mm), 4 x 6 (101.6mm x 152.4mm)
Citizen CL-S700	USER (101.6mm x 152.4mm), 2 x 4 (50.8mm x 101.6mm), 4 x 4 (101.6mm x 101.6mm), 4 x 6 (101.6mm x 152.4mm)
Citizen CL-S703	USER (101.6mm x 152.4mm), 2 x 4 (50.8mm x 101.6mm), 4 x 4 (101.6mm x 101.6mm), 4 x 6 (101.6mm x 152.4mm)
Citizen CLP-8300	USER (203.2mm x 152.4mm), 2 x 4 (50.8mm x 101.6mm), 4 x 4 (101.6mm x 101.6mm), 4 x 6 (101.6mm x 152.4mm)

ストックに該当サイズが無い場合は、「USER」を選択の上、「編集(E)」ボタンを押下し、「ストックを編集」ウインドより、「サイズ」および「両端の台紙部分幅」を変更するか、「新規(W)」ボタンを押下し、編集と同じ操作で新たなストックを追加して下さい。



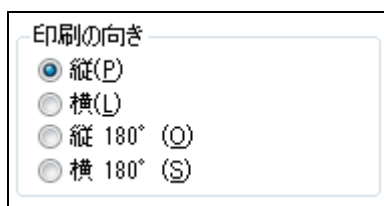
② プレビュー

「印刷の向き」および「効果」の設定に従いプレビューします。



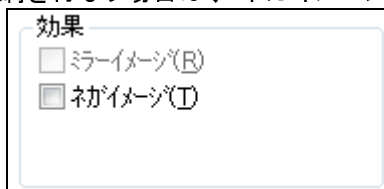
③ 印刷の向き

印刷の向きを指定します。



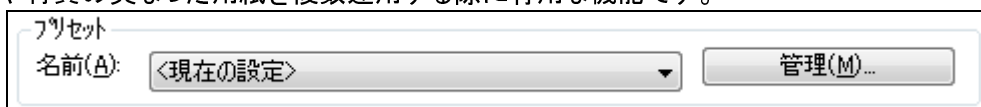
④ 効果

ネガポジ反転(白黒反転)で印刷を行なう場合は、「ネガイメージ(T)」にチェックを入れます。

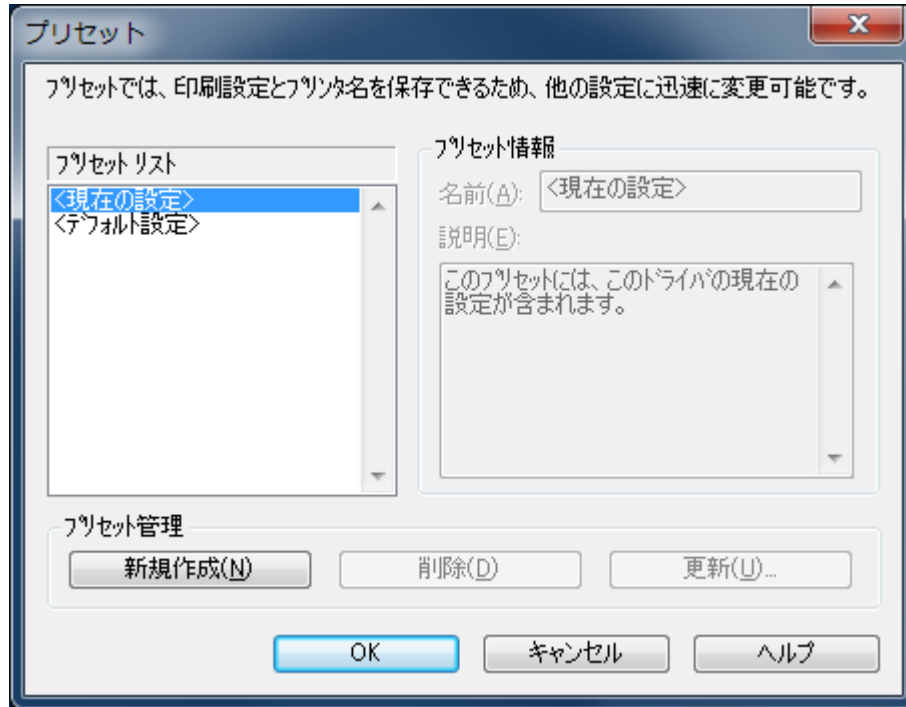


⑤ プリセット

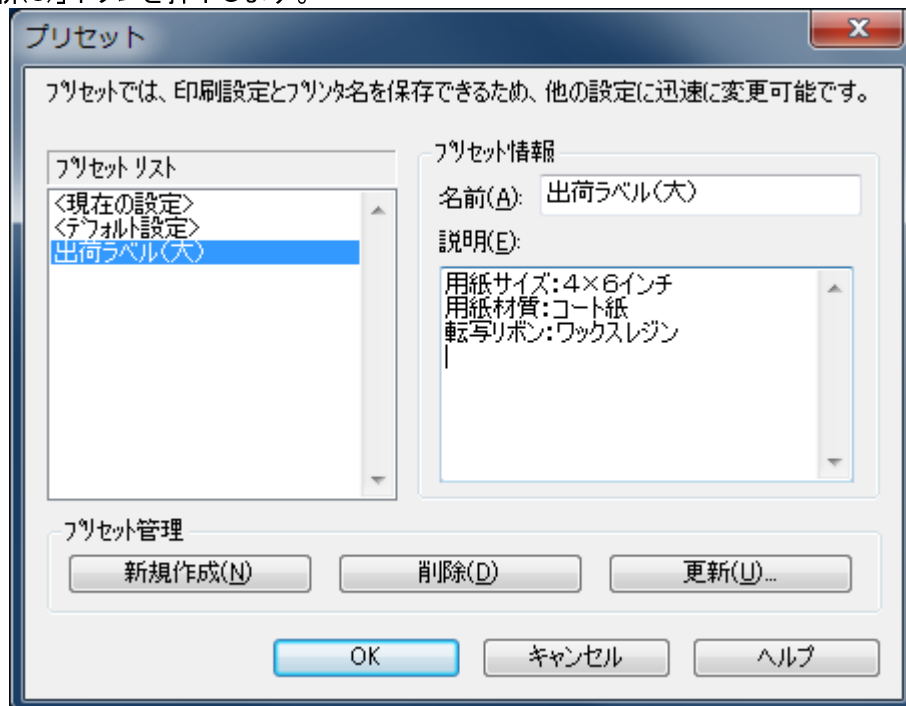
印刷設定プロパティ上(用紙、グラフィック、ラベル用紙、オプション)で設定された値をプリセットします。サイズや材質の異なった用紙を複数運用する際に有用な機能です。



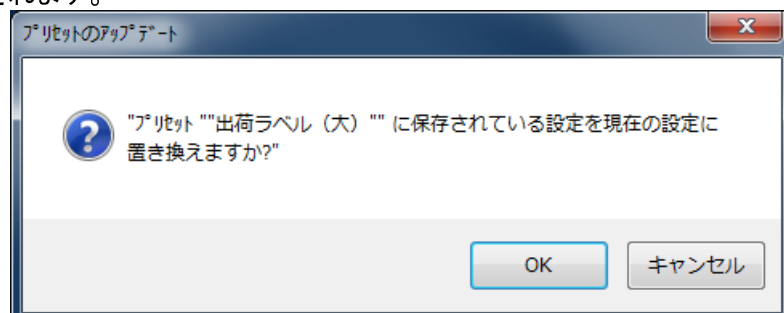
現在の印刷設定をプリセットするには、「管理(M)」ボタンを押下し、プリセットウィンドを表示させます。



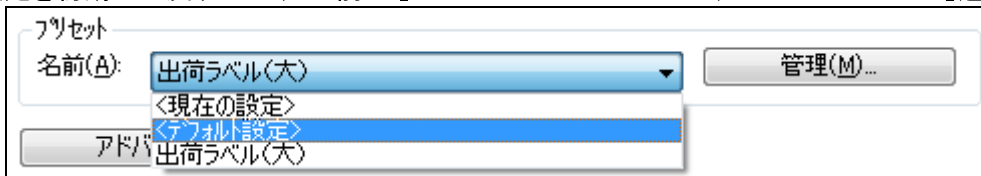
「新規作成(N)」ボタンを押下、次に「名前(A)」にプリセット名を入力、続いて「説明(E)」に覚え書き等を入力し、「更新(U)」ボタンを押下します。



「プリセットのアップデート」のダイアログが表示されます。「更新(U)」ボタンを押下すると、現在の印刷設定がプリセットされます。

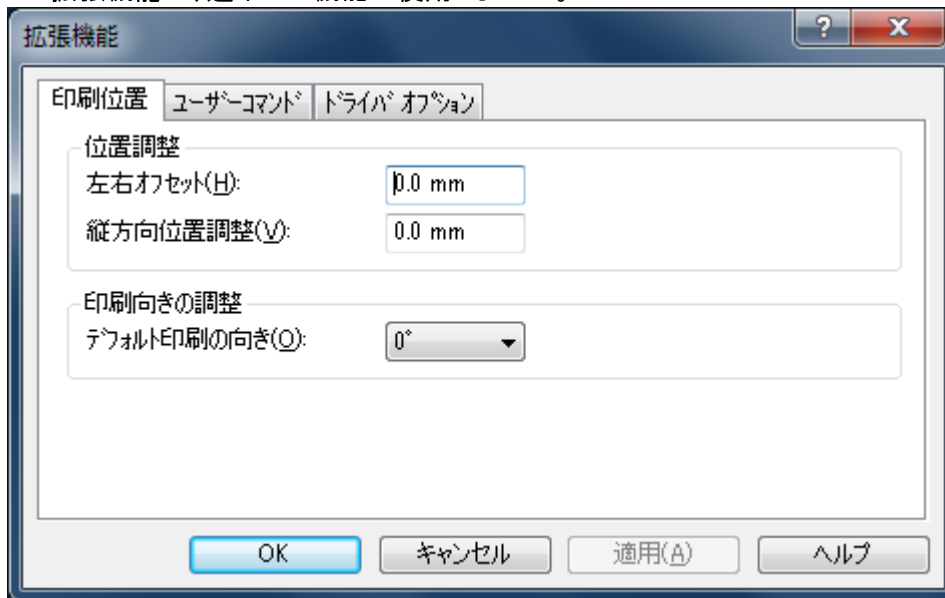


印刷設定を初期値に戻すには、「名前(A)」のプルダウンメニューより、「<デフォルト設定>」を選択します。



⑥ アドバンスオプション

ドライバの拡張機能で、通常この機能は使用しません。



グラフィックプロパティ

ビットマップグラフィックに関する設定を行いません。設定を変更するには、「適用(A)」ボタンを押下します。



① 解像度

プリンタの解像度を指定します。

プリンタの解像度により、この項目の値は固定されます。

203 DPI モデル： 8.0 ドット/mm x 8.0 ドット/mm

300 DPI モデル： 11.8 ドット/mm x 11.8 ドット/mm

400 DPI モデル： 16.0 ドット/mm x 16.0 ドット/mm

② デザリング

これらの設定は、ビットマップグラフィックのみに影響します。

つまり、非ビットマップグラフィック(プリンタ搭載のフォントおよびバーコード)には影響しません。

ビットマップグラフィックに使用するデザリング操作を選択し、「色調整(L)」および「デザリングセットアップ(D)」より調整を行います。

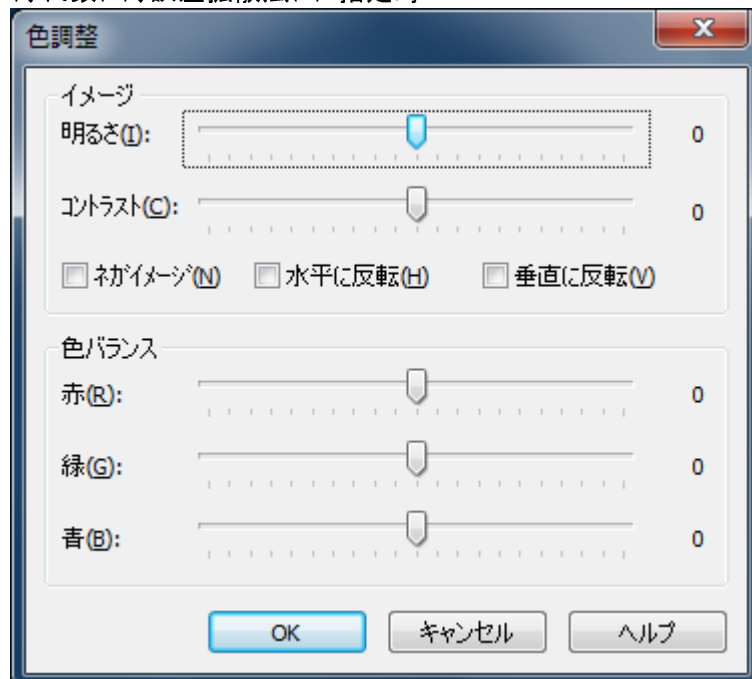
■ 色調整(L)

明るさやコントラストレベルなどを調整します。

- ・ ハーフトーン(H) 指定時



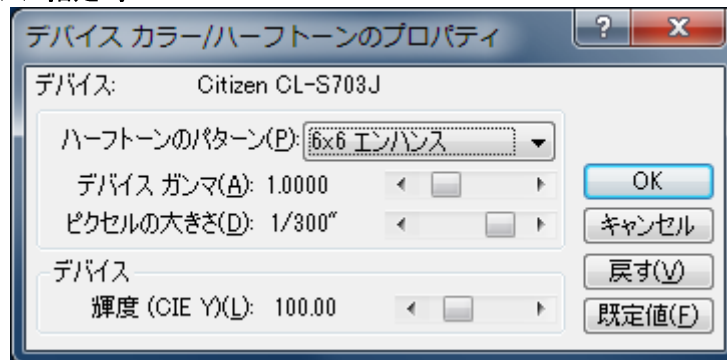
- ・ オーダード(O)、代数(A)、誤差拡散法(E) 指定時



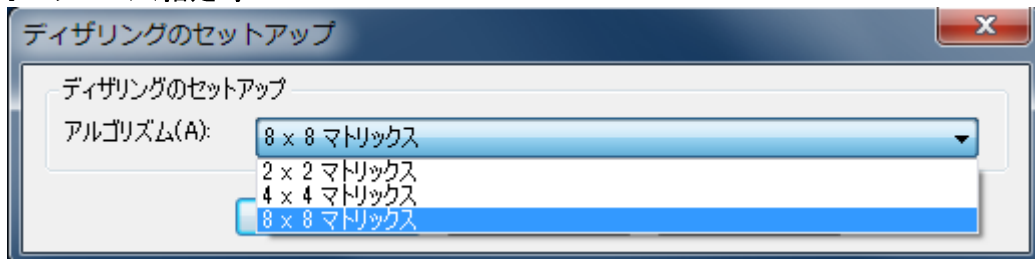
■ デザリングのセットアップ(D)

デザリングアルゴリズムパラメタを調整します。

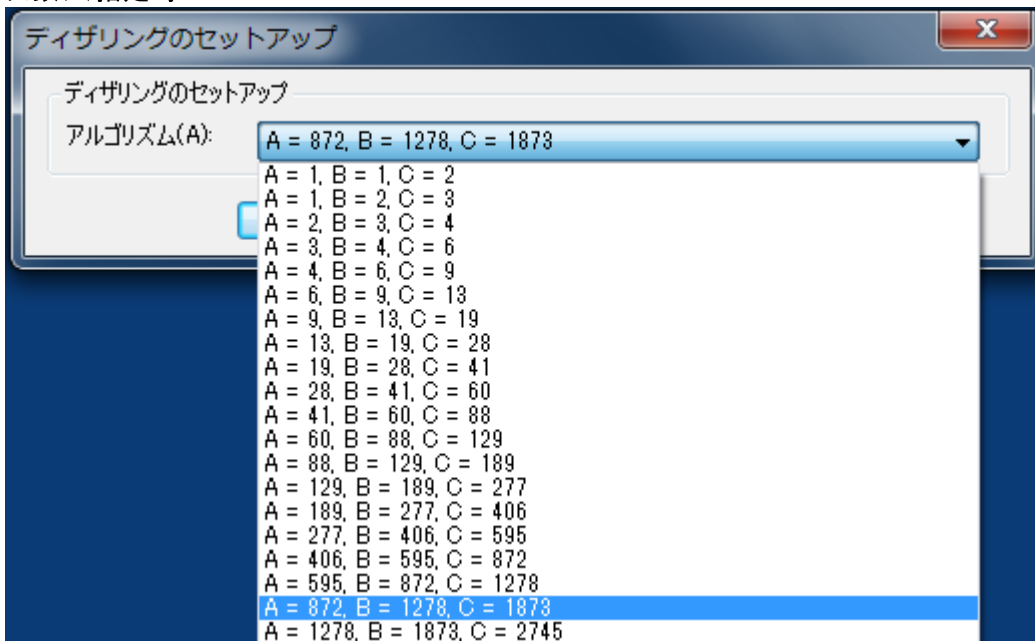
- ・ ハーフトーン(H) 指定時



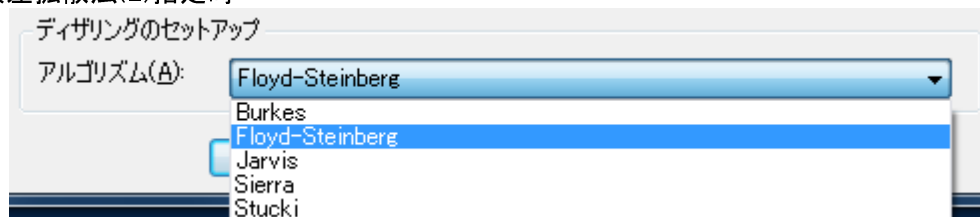
- ・ オーダード(O)指定時



- ・ 代数(A)指定時



- ・ 誤差拡散法(E)指定時



③ 色

色の制御を指定するための項目です。

モノクロプリンタである CITIZEN バーコードラベルプリンタは、「モノクロ印刷」に固定されます。

ラベル用紙プロパティ

メディアに対するプリンタの動作を設定する為のプロパティです。設定を変更するには、「適用(A)」ボタンを押下します。

① 媒体設定

■ ラベルセンサー(L)

使用するメディアセンサーを選択します。

選択項目	動作
現在の設定	プリンタ側の設定に従う
無効	メディアセンサーを使用しない
ラベルギャップ	ギャップセンサー(透過式センサー)を使用
ラベルマーク	マークセンサー(反射センサー)を使用

■ 印刷方法(M)

印刷方法を選択します。

選択項目	動作
現在の設定	プリンタ側の設定に従う
感熱	感熱用紙を使用
熱転写	熱転写リボンを使用

■ センサー位置(S)

使用するメディアセンサーを選択します。

※メディアセンサーが前方と後方の両方に搭載されたモデルのみ選択が可能です。

選択項目	動作
現在の設定	プリンタ側の設定に従う
前方	前方の固定センサーを使用
後方	後方のアジャスタブルセンサーを使用

② 用紙の処理

■ 印刷後動作(A)

印刷後の動作を指定します。

選択項目	動作
なし	印刷終了後ラベル(用紙)を印字ヘッド部分まで送り停止
手切り	印刷終了後ラベル(用紙)を手切りガイド部分まで送り停止
発行	手切り設定時と同じ、但しオプションの剥離機が装着されている場合は剥離設定と同じ
一時停止	印刷終了後ラベル(用紙)を手切りガイド部分まで送りポーズ状態で停止
カット	印刷終了後ラベル(用紙)をカットし停止
カットして一時停止	印刷終了後ラベル(用紙)をカットし、ポーズ状態で停止
剥離	オプションの剥離機装着時、印刷終了後剥離位置まで紙を送り、剥離待ちになる
巻取り	リワインダーモデルのみ設定可能

■ カット動作(O)

使用するメディアセンサーを選択します。

選択項目	動作
各ページ後	各ページ(ラベル)印刷毎に指定された動作を行なう
指定の間隔後	指定した間隔(枚数)毎に指定された動作を行なう
ラベルの同一コピー後	指定したラベルの同一コピー終了後に指定した動作を行なう
ジョブの最後	連続印刷の最後に指定された動作を行なう

■ 開始オフセット(T)

印刷度動作(A)で選択した内容により、値が自動的に変わります。

カット位置や印刷位置を変更したい場合、直接値を入力する事もできます。直接入力を行う場合は、各製品の取扱説明書をご参照ください。

開始オフセット(T) 0.0 mm

■ 終了オフセット(F)

印刷度動作(A)で選択した内容により、値が自動的に変わります。

カット位置や印刷位置を変更したい場合、直接値を入力する事もできます。直接入力を行う場合は、各製品の取扱説明書をご参照ください。

※CLP-7000 シリーズでは、「印刷後動作」が「なし」に設定されている場合は非表示となります。

終了オフセット(F) 25.4 mm

③ 印刷オプション

■ ダブルバッファ(D)

プリンタをダブルバッファモードで使用します。

チェックを入れると、プリンタは2つの内部編集用メモリーで印刷データの編集を行なうため、スループットの向上が期待できます。

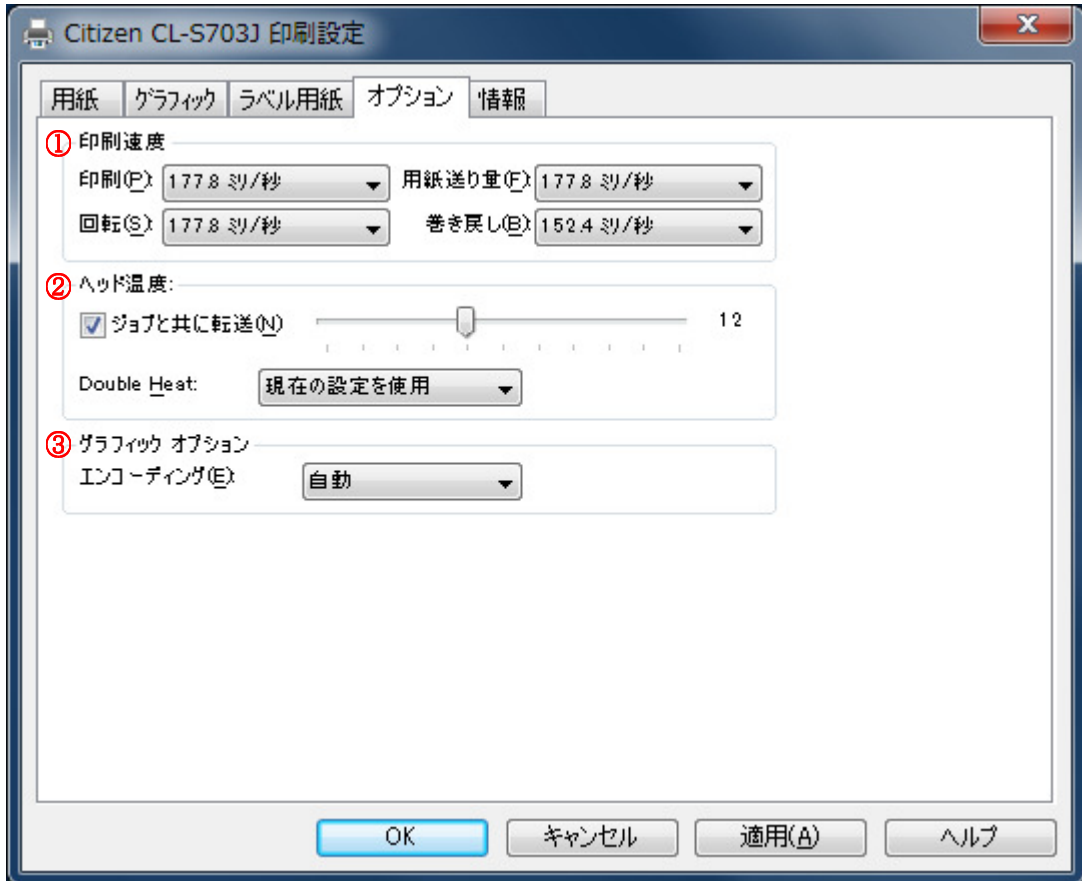
※全モデル、ダブルバッファ有効で固定

印刷オプション

ダブル バッファ(D)

オプションプロパティ

ドライバのオプション機能の設定です。設定を変更するには、「適用(A)」ボタンを押下します。

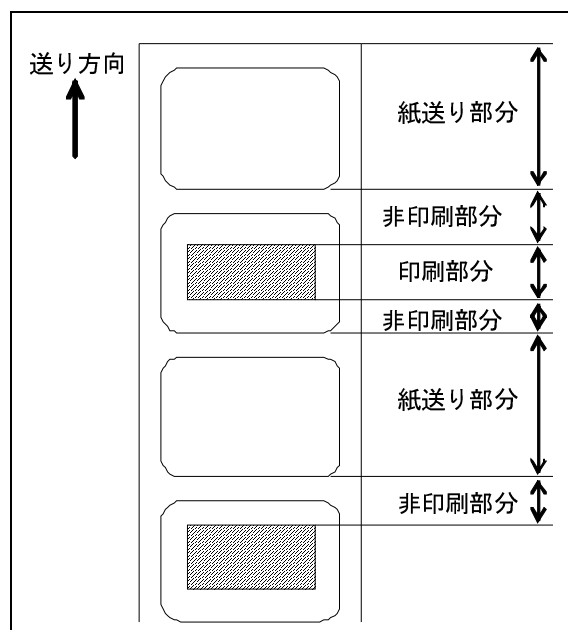


① 印刷速度

印字スリップや印字カスレが起こらないよう、印刷部分と非印刷部分の速度を個別に調整します。

■ モデルによって、選択可能な速度の範囲が変わります。

選択項目	内容
印刷(P)	印刷部分の速度を指定します
用紙送り量(F)	非印刷部分の速度を指定します
フィード回転(S)	紙送り部分の速度を指定します
巻き戻し(B)	バックフィード時の速度を指定します



② ヘッド温度

■ ジョブと共に転送(N)

印刷濃度を調整します。

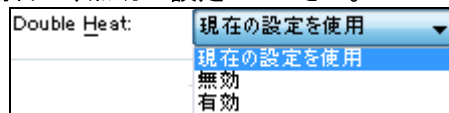
指定範囲は、0(低)～30(高)です。



■ Double Heat:

高濃度印刷 (Double Heat) を行うかを設定します。

印刷濃度に問題が無い場合は、無効に設定して下さい。



選択項目	内容
現在の設定を使用	プリンタの設定に従います
無効	高濃度印刷を無効にします (プリンタの初期値)
有効	高濃度印刷を有効にします

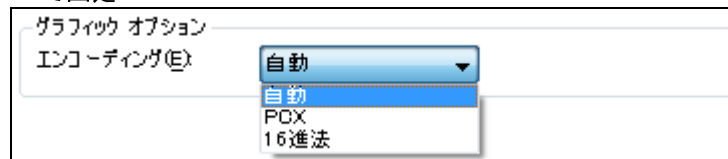
③ 印刷オプション

■ コーディング(E)

指定されたビットマップのグラフィック形式を選択します。

モノクロ2階調の連長圧縮(RLE)方式である PCX 形式に変換し、プリンタへ送信します。

※全モデル PCX で固定



情報プロパティ

ドライバに関する情報を確認する為のプロパティです。



① ライセンス(L)

ライセンス規約が表示されます。

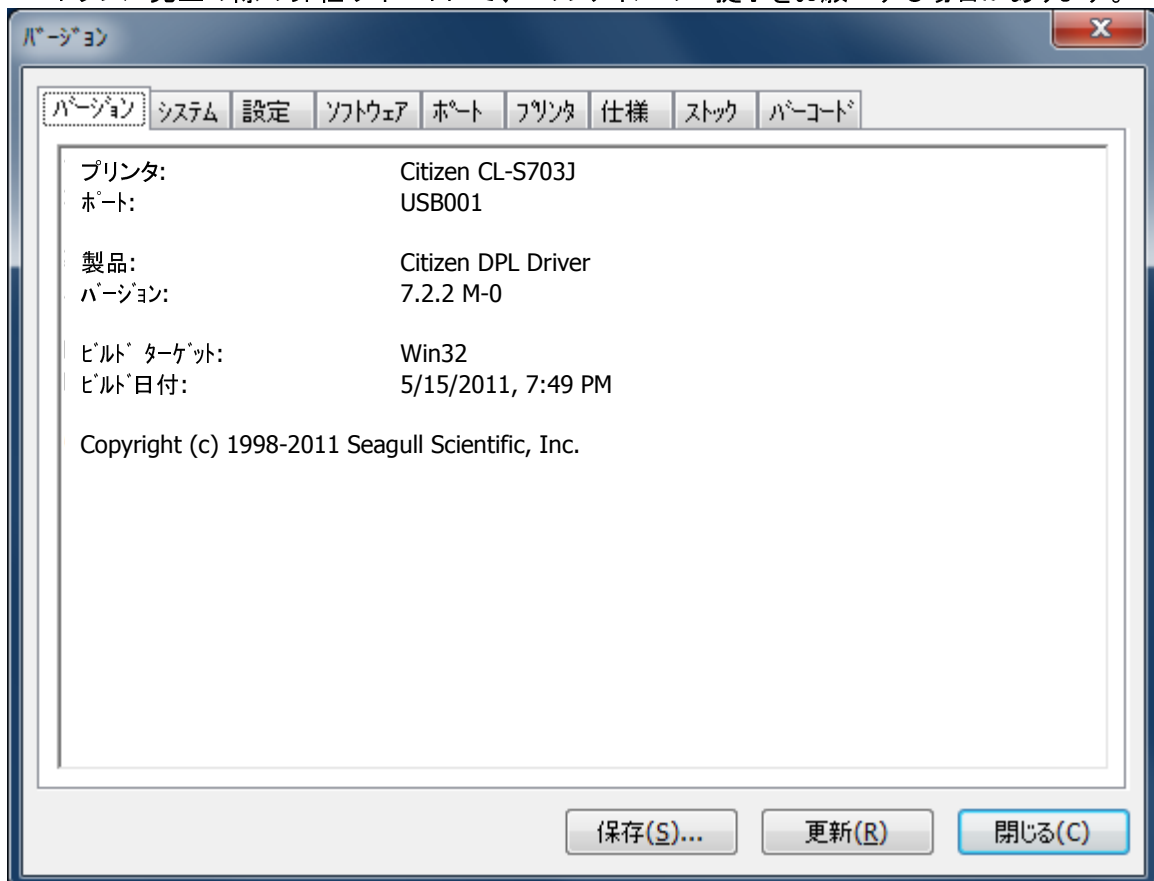


② バージョン(V)

バージョンのプロパティウィンドが表示されます。

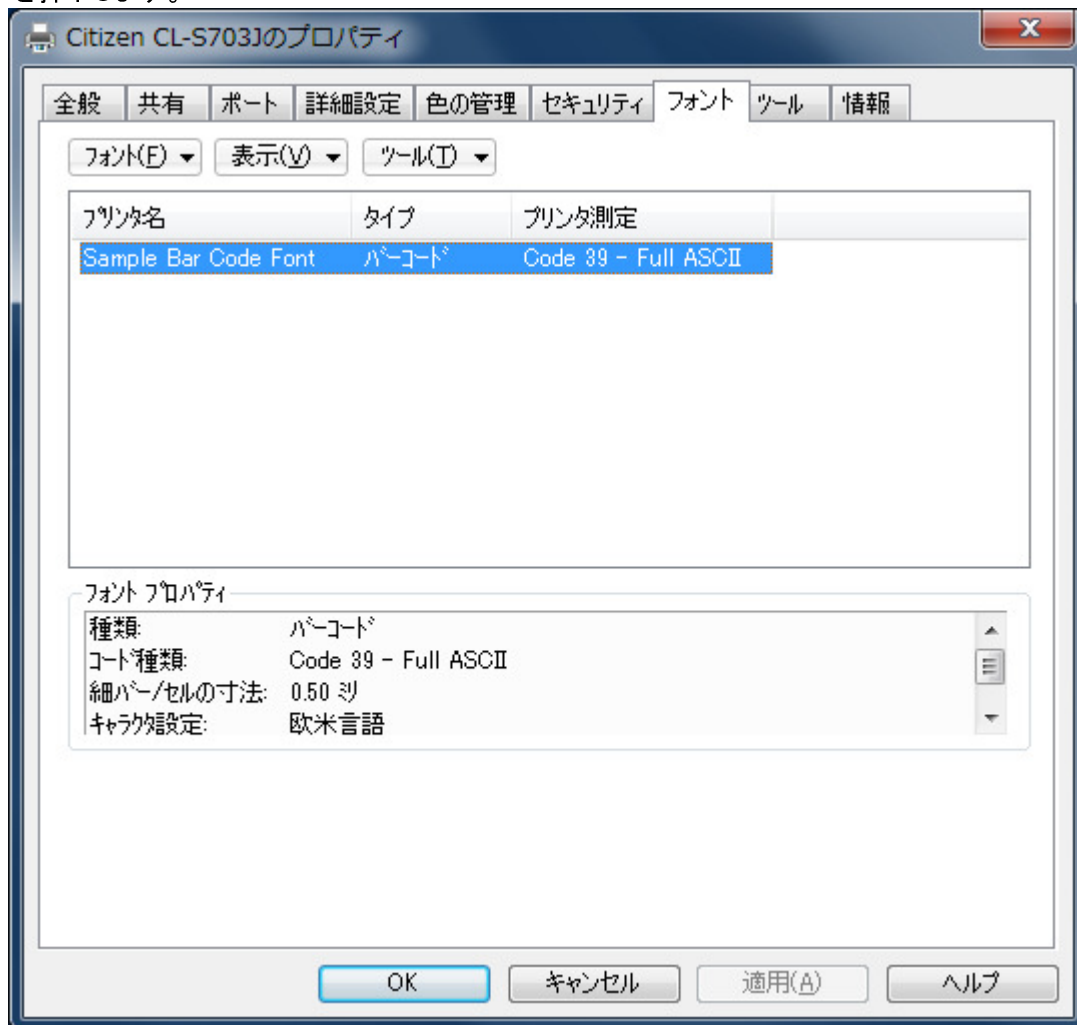
保存(S)を押下にて、システム環境、ドライバー設定、用紙ストック情報などが HTML 形式でファイル保存されます。

トラブル発生の際の弊社サポートにて、このファイルのご提示をお願いする場合があります。



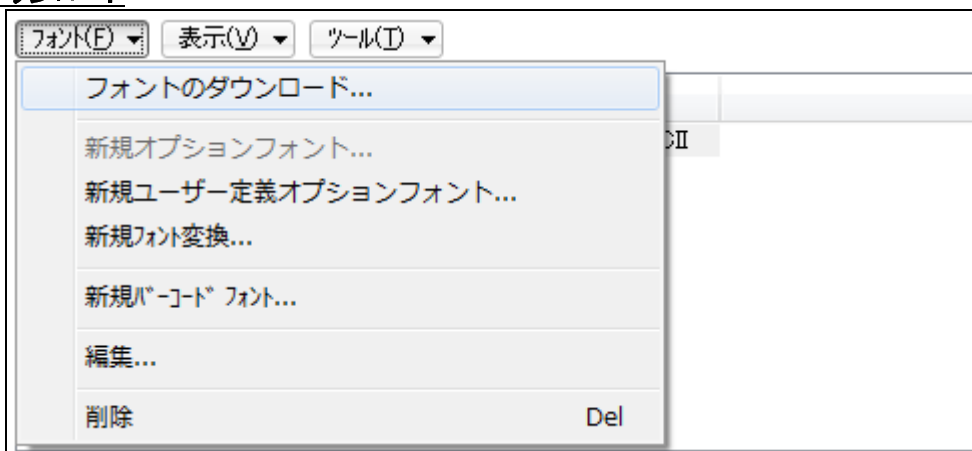
5. フォントの設定

「フォント」タブより、フォントやバーコードフォントに関する操作を行ないます。設定を変更するには、「適用(A)」ボタンを押下します。



5-1. フォントプロパティ

フォントのダウンロード



通常、OS にインストールされた TrueTypeFont を印刷する際は、指定された TrueTypeFont をドライバがビットマップグラフィックに加工し、プリンタへ転送する方式が取られますが、その加工されたグラフィックは極めて大量なデータとなり、これが要因でスループットの低下につながる場合があります。

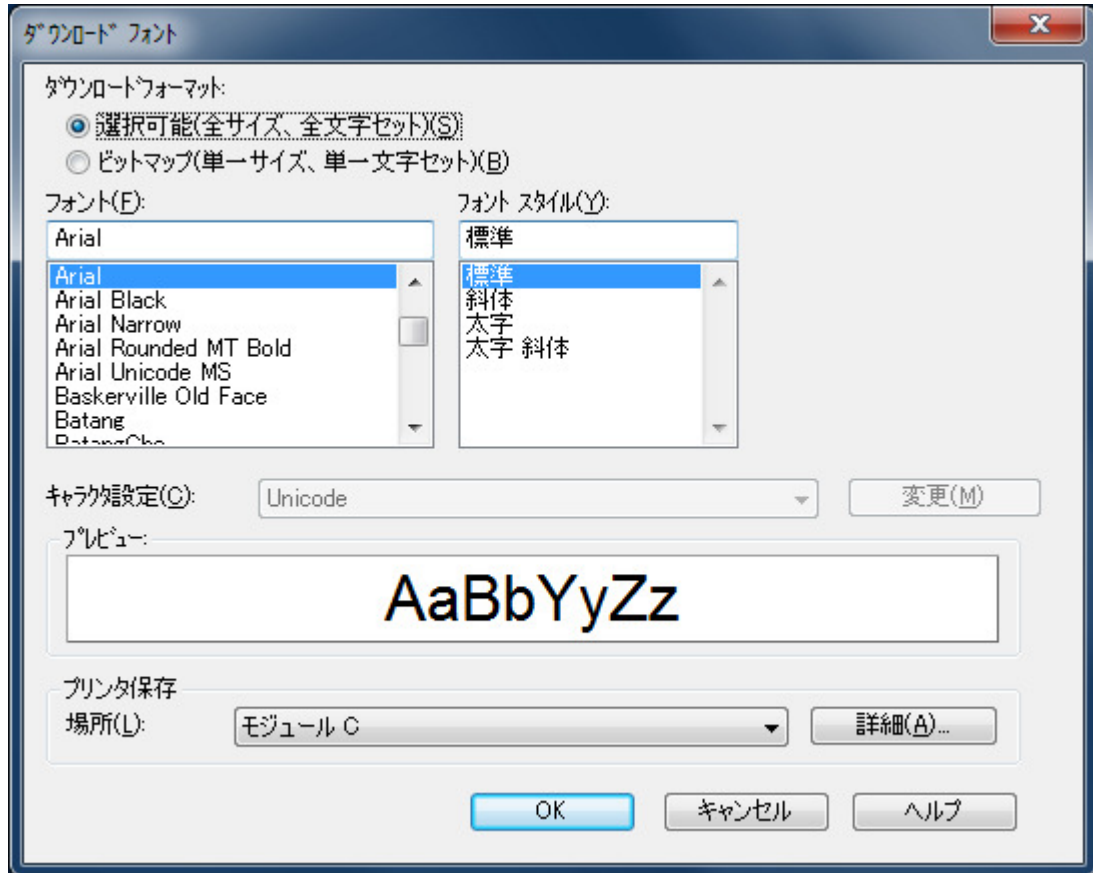
この問題を解決するために、シチズンバーコードラベルプリンタには、フォント登録機能が搭載されています。この機能は、使用する TrueTypeFont そのものを予めプリンタのユーザーメモリにプリンタフォントとして名前をつけて保存しておき、上位アプリケーションから保存済みのフォント名を指定し印刷を行なうものです。

以上のことから、この機能を利用することでスループットの低下を抑えることができます。

※ 注意

プリンタのユーザーメモリサイズを越えたフォントは利用できません。プリンタのユーザーメモリサイズは、各モデルの取扱説明書に記載されていますので、ご確認下さい。

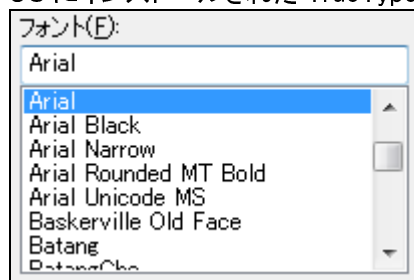
<ダウンロードフォントプロパティ>



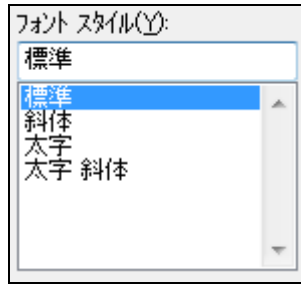
- ① ダウンロードフォントプロパティのウィンドより、ダウンロードフォーマットを選択します。ここでは、プリンタにスケーラブルフォントとしてダウンロードするか、または、ビットマップフォントとしてダウンロードするかを選択します。

選択項目	内容
選択可能(全サイズ、全文字セット)(S)	スケーラブルフォントとしてダウンロードします。全てのキャラクタを利用できます。
ビットマップ(単一サイズ、単一文字セット)(B)	ビットマップフォントとしてダウンロードします。日本語キャラクタを指定の際は、英数字、カタカナはダウンロードされますが、漢字は利用できません。

- ② 「フォント(F)」のリストより、OS にインストールされた TrueTypeFont を選択します。

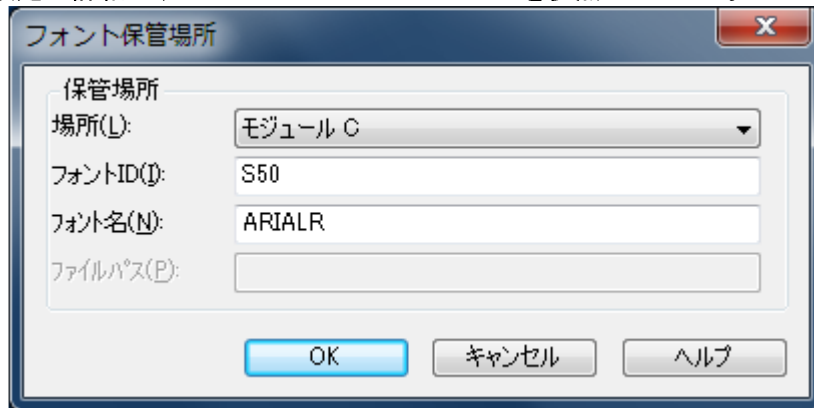


- ③ 「フォントスタイル(Y)」のリストより、選択したフォントスタイル選択します。



- ④ プリンタのユーザーメモリモジュール、フォント ID、フォント名を変更する場合は、「詳細(A)」ボタンを押下の上、「フォント保管場所」のダイアログより操作を行ないます。

※この設定の詳細は、プリンタのコマンドリファレンスを参照して下さい。



■ 場所(L)

使用するメモリモジュールを指定します。

	モジュール C	モジュール D	モジュール G
Citizen CLP-2000	SD-RAM	SD-RAM	-
Citizen CLP-7000	SD-RAM	SD-RAM	-
Citizen CLP-7200	NativeON 設定時 SD-RAM NativeOFF 設定時 FLASH ROM	NativeON 設定時 SD-RAM NativeOFF 設定時 FLASH ROM	NativeON 設定時 FLASH ROM NativeOFF 設定時 SD-RAM
Citizen CLP-7400	SD-RAM	SD-RAM	-
Citizen CLP-520	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CLP-620	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CLP-630	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-S400DTJ	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-S520	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-S530	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-S620	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-S630	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-S700J	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CL-S703J	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM
Citizen CLP-8300	SD-RAM	SD-RAM	FLASH ROM

SD-RAM : 揮発性メモリ FLASH ROM : 不揮発性メモリ

■ フォント ID(I)

スケーラブルフォント選択時のフォント ID 指定範囲は下表の通りです。

	フォント ID	意味
全モデル	S50 ~ S5z, … S90 ~ S9z	1 バイト系 TrueType, ハイチー指定
	s50 ~ s5z, … s90 ~ s9z	1 バイト系 TrueType, HEX ASCII 指定
	U50 ~ U5z, … U90 ~ U9z	2 バイト漢字 TrueType, ハイチー指定
	u50 ~ u5z, … u90 ~ u9z	2 バイト漢字 TrueType, HEX ASCII 指定

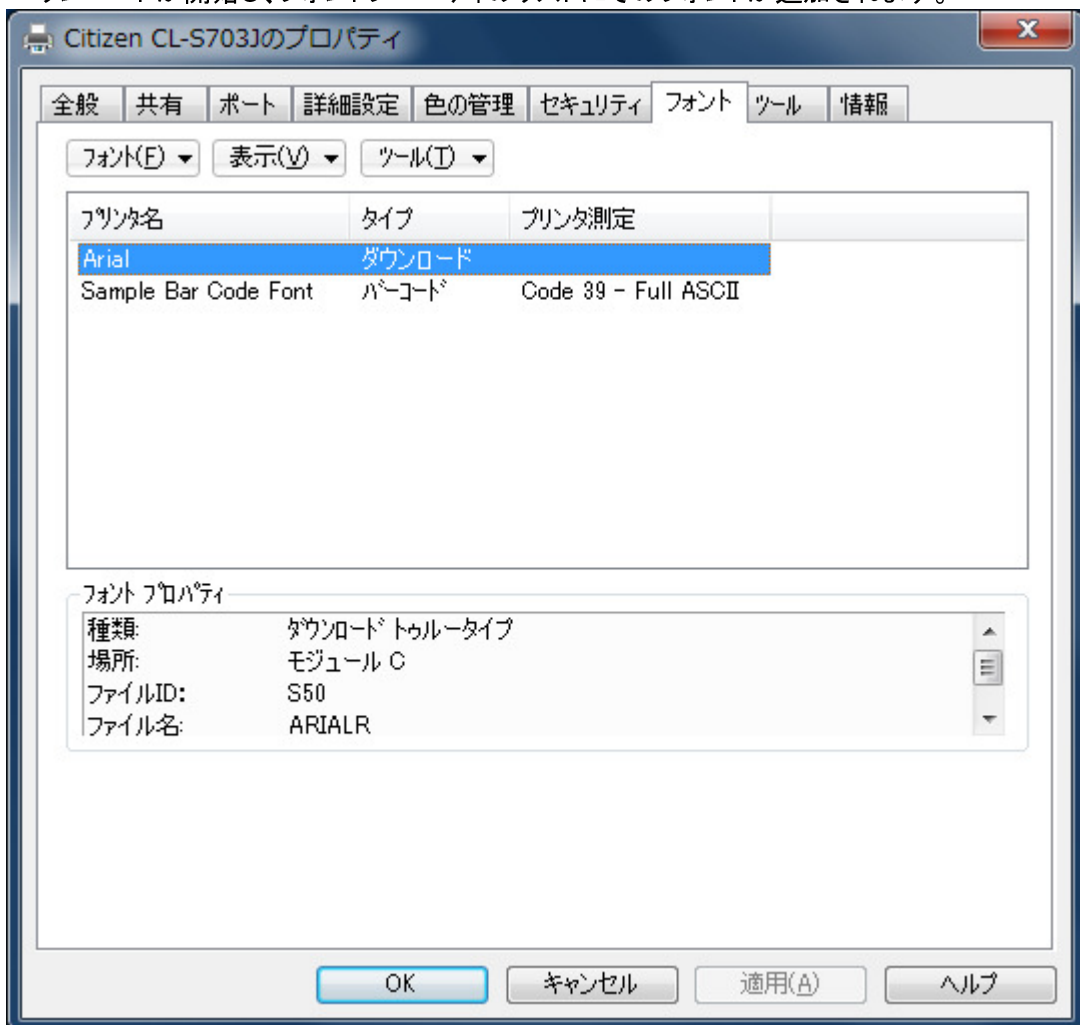
ビットマップフォント選択時のフォント ID 指定範囲は下表の通りです。

全モデル	フォント ID
	100~999

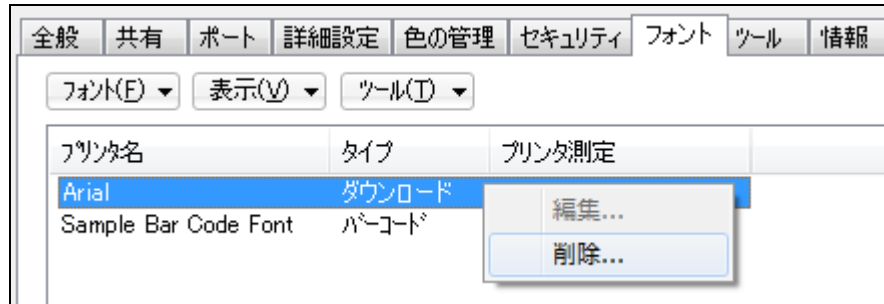
■ フォント名(N)

任意の文字列を入力します。(最高16文字迄)

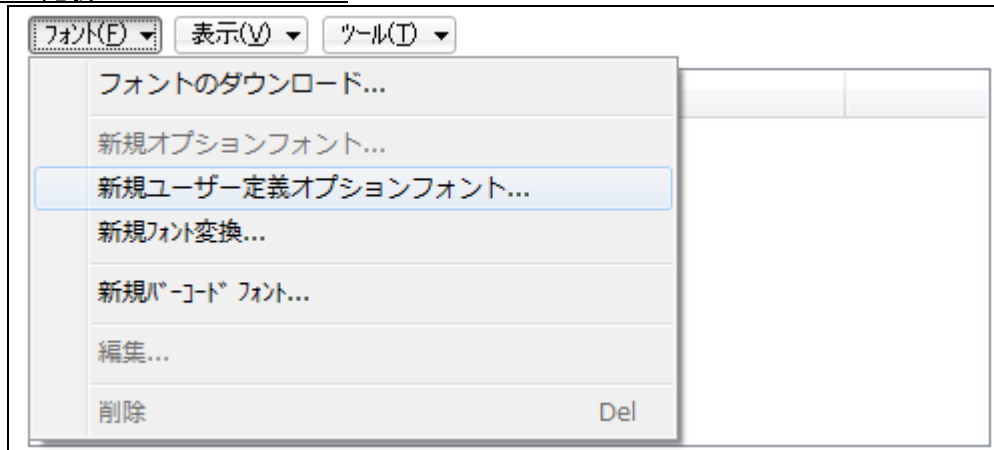
- ⑤ ダウンロードフォントプロパティウィンド上の「OK」ボタンを押下します。すると、指定されたフォントのダウンロードが開始し、フォントプロパティのリストにそのフォントが追加されます。



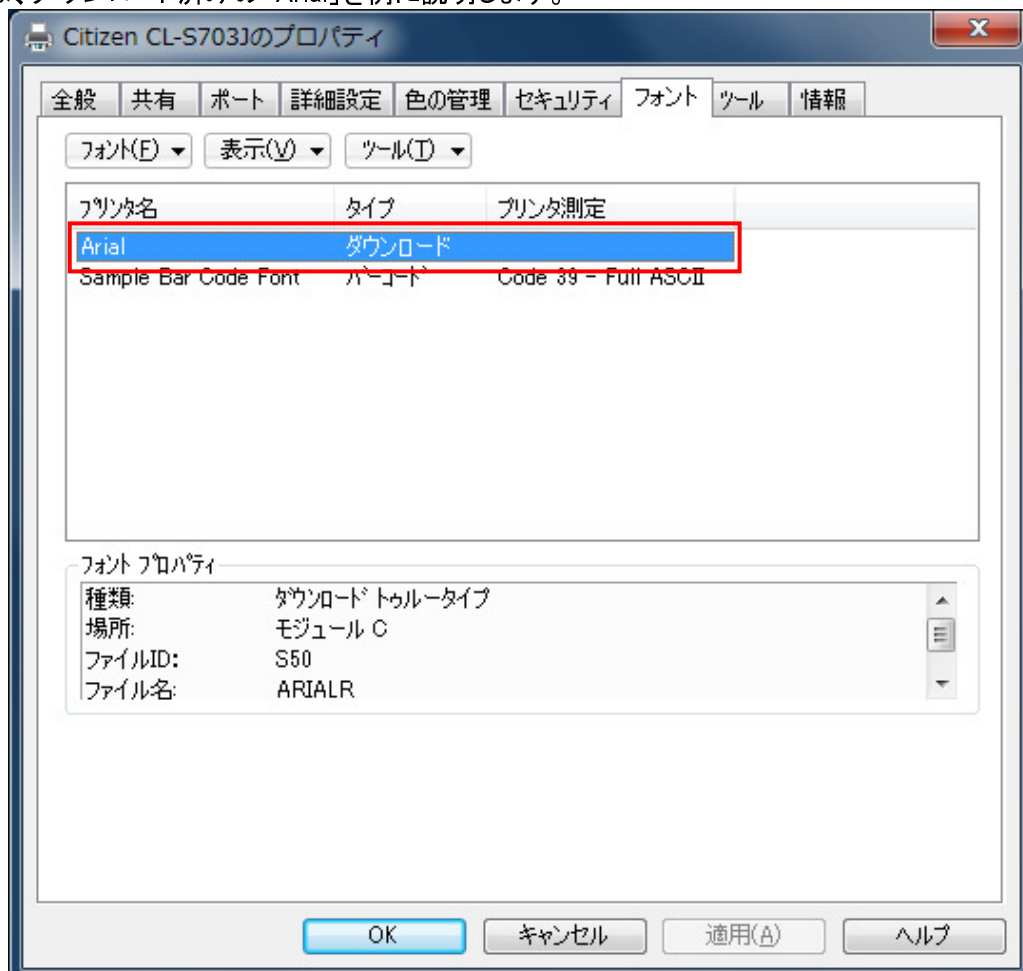
- ⑥ ダウンロードフォントの削除を行うには、フォントプロパティのリストより削除したいダウンロードフォントを右クリックし、「削除」を押下します。



新規ユーザー定義オプションフォント



ダウンロードフォントプロパティにて定義済みのダウンロードフォントをユーザー定義する為のオプションです。ここでは、ダウンロード済みの「Arial」を例に説明します。



<ユーザー定義オプションフォントプロパティ>

① プリンタフォントプロパティ

■ フォントタイプ:

ダウンロードフォントプロパティにて定義済みのダウンロードフォントがスケーラブルフォントかビットマップフォントかを指定します。

選択項目	内容
スケーラブル	スケーラブルフォントとしてダウンロード済み
ビットマップ	ビットマップフォントとしてダウンロード済み

■ プライマリスクリプト:

「スケーラブル」選択時、プライマリ言語を指定します。

「ビットマップ」選択時、キャラクタ設定、フォントのポイントサイズを指定します。

■ フォントID:

ダウンロードフォントプロパティで定義済みのフォントIDを入力します。

② アプリケーションフォントプロパティ

■ フォント名(N):

アプリケーションソフトウェアのフォントリストに追加される任意のフォント名を入力します。

フォント名(N):	PRINTER-ARIAL
-----------	---------------

■ 説明(D):

このユーザー定義フォントについての説明を入力します。

説明(D):	プリンタにダウンロード済みのArialフォント
--------	-------------------------

■ フォント表示:

選択(E)ボタンを押下し、ダウンロードフォントプロパティで定義済みのフォント名を指定します。

フォント表示:	Arial	選択(E)...
---------	-------	----------

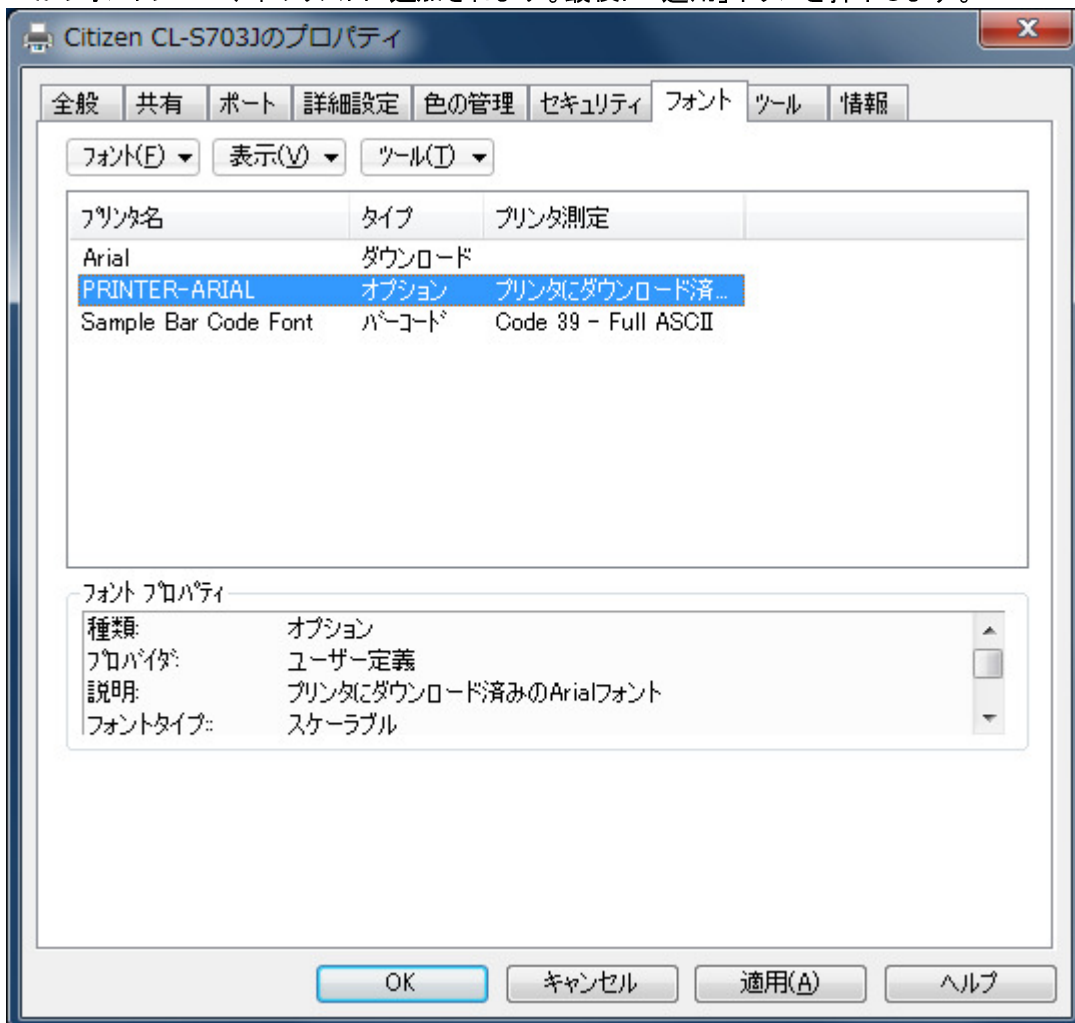
③ 測定法調整

■ 横方向比率(D):

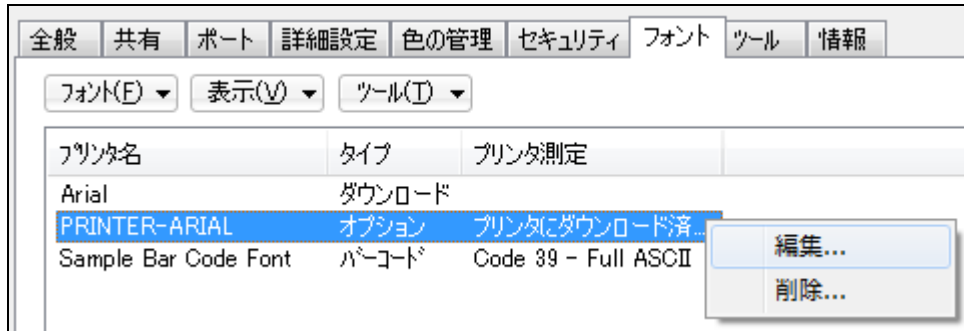
「スケーラブル」選択時、スケーラブルフォントの横方向比率を指定します。

測定法調整			
横方向比率(Q):	100%	縦方向比率(V):	100%

④ ユーザー定義オプションフォントプロパティ上の「OK」ボタンを押下します。すると、定義されたフォントがフォントプロパティのリストに追加されます。最後に「適用」ボタンを押下します。



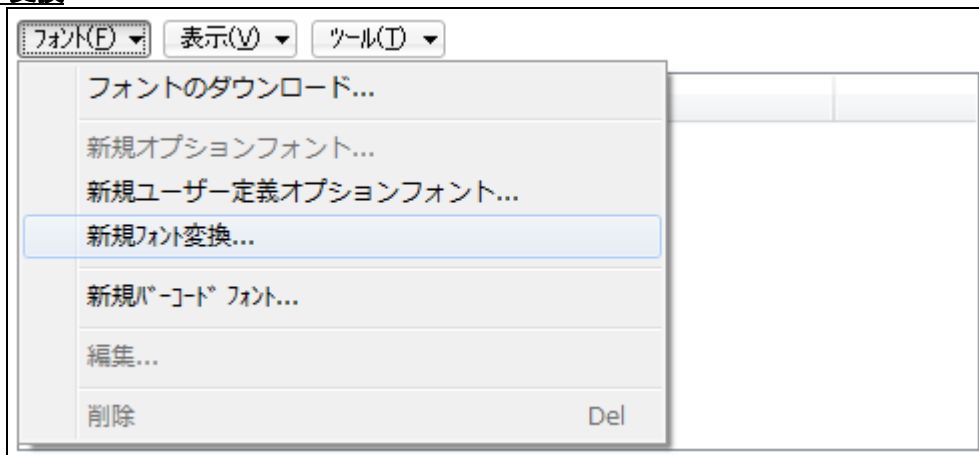
- ⑤ オプションフォントの編集および削除を行うには、フォントプロパティのリストより該当のオプションフォントを右クリックし、「編集」または「削除」を押下します。



- ⑥ 任意のアプリケーションソフトウェアを起動し、フォントリストに定義されたオプションフォントが追加されていることを確認します。



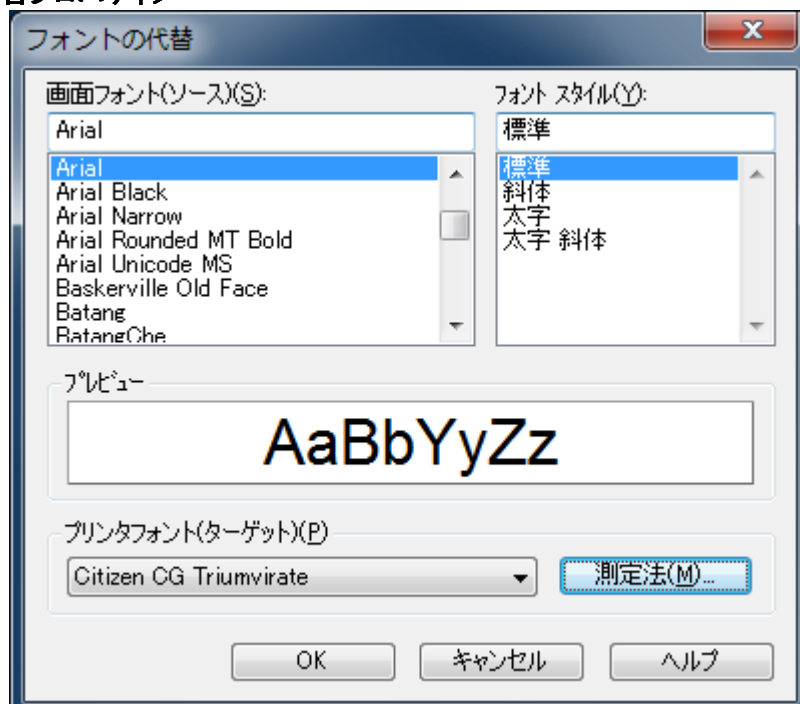
新規フォント変換



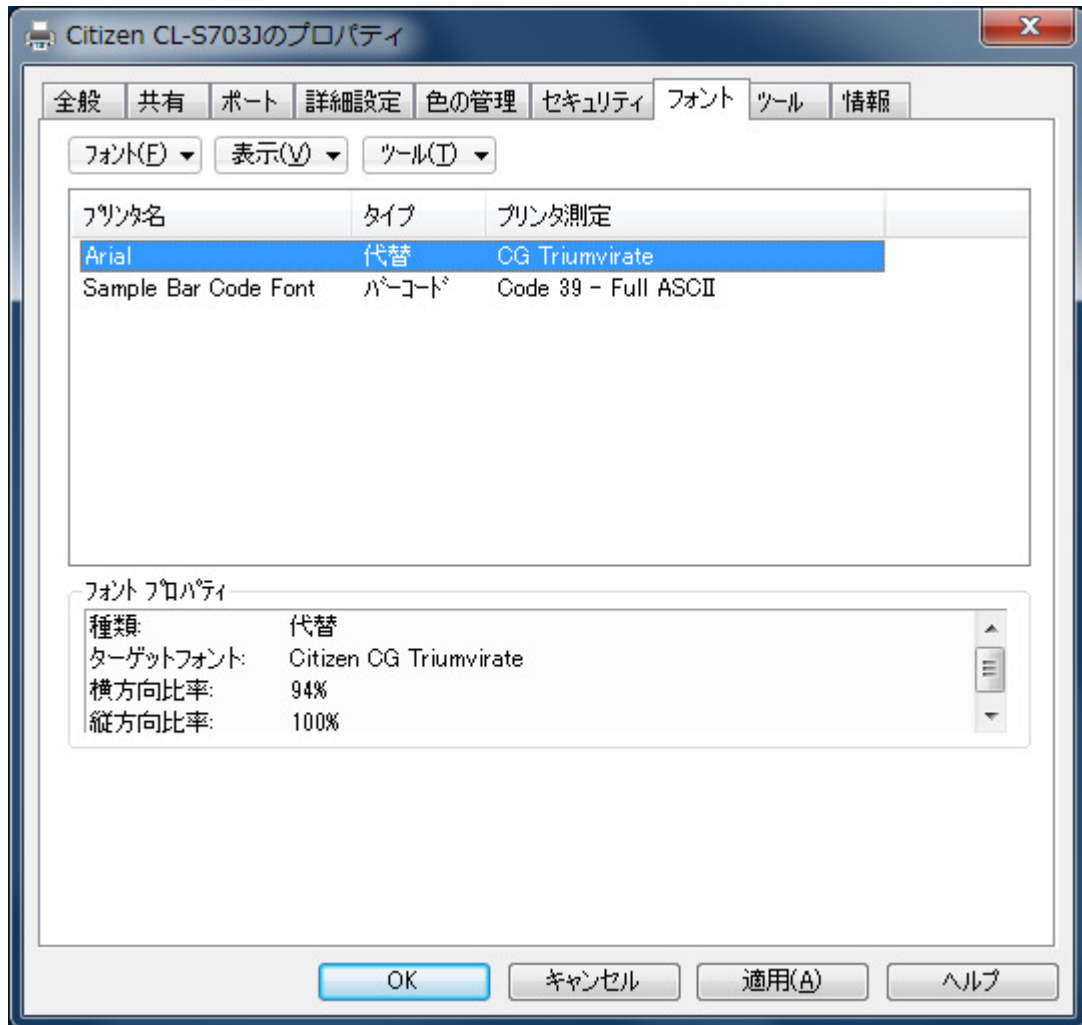
ドライバは、OSにインストールされたフォントをプリンタフォントに置き換えます。

この機能を使用することで、プリンタフォントを選択することのできないアプリケーションソフトウェアより、プリンタフォントを印刷することが可能になります。

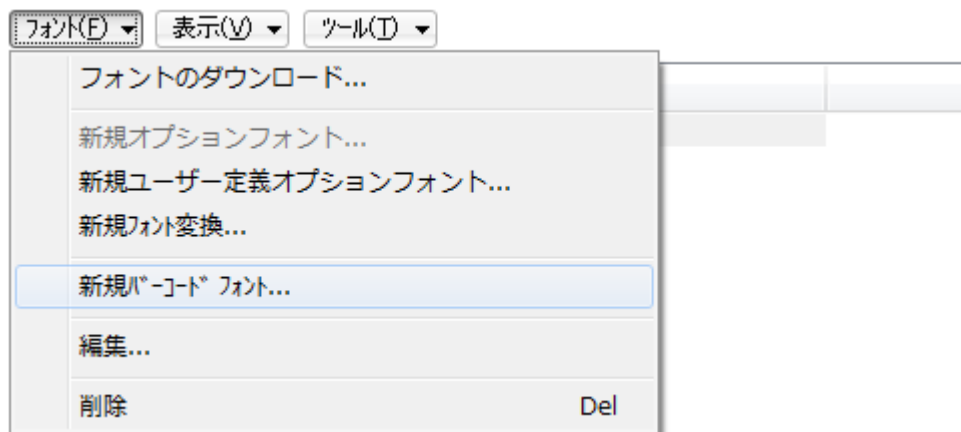
<フォント代替プロパティ>



- ① フォントの代替プロパティのウィンド「フォント(ソース)(S)」のリストより、プリンタフォントに代替したい OS のフォントを選択します。
- ② 「プリンタフォント(ターゲット)(P)」より、代替したいプリンタフォントを選択します。
- ③ 「OK」ボタンを押下すると、フォントプロパティのリストに代替フォントが追加されます。



新規バーコードフォント



使用するプリンタバーコードフォントを定義しフォントプロパティに追加します。
この機能は、バーコードフォントをプリンタにダウンロードするものではありません。

<バーコードフォントプロパティ>

- ① 「フォント」の項目より、フォント名、キャラクタ設定、幅、複数ラインの結合を指定します。

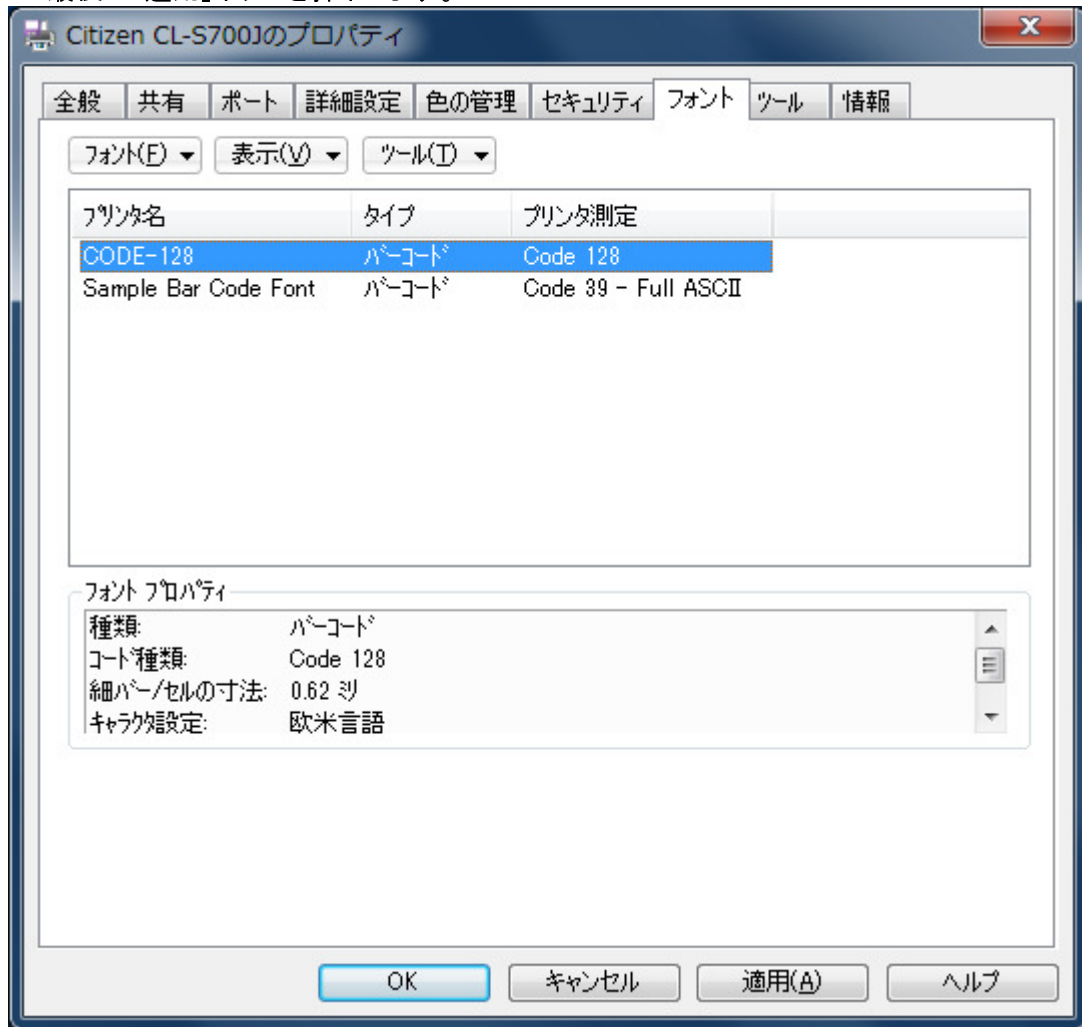
指定項目	内容
フォント名(N)	任意のフォント名を入力
キャラクタ設定(E)	コードページを指定します ※国際文字はサポートされません
幅(W)	印刷プレビュー時のシンボルテキストの幅を指定します ※シンボルのエレメント幅には影響しません
複数ラインの結合(M)	同一ページに指定されたシンボルテキストを結合し、一つのシンボルとして印刷します

- ② 「バーコードオプション」の項目より、コードの種類、細バー／セルの寸法、印刷の向き、バー下数字（開始コード）、比率を指定します。

選択項目	内容
コード種類(S)	バーコードのシンボルを指定します
細バー／セルの寸法(X)	ナローバー幅(最小エレメント幅)を指定します
印刷の向き(O)	シンボルの回転方向を指定します
バー下数字(H)	ヒューマンリーダブルキャラクタ(可視コード)をシンボルの下に付加するか否かを指定します
比率	ナロー／ワイドのエレメント比率を指定します

- ③ 「コード固有のオプション」の項目より、バーコード固有のオプションを指定します。

- ④ 「OK」ボタンを押下すると、フォントプロパティのリストに定義したバーコードフォントが追加されます。最後に「適用」ボタンを押下します。



- ⑤ 任意のアプリケーションソフトウェアを起動し、そのフォントリストに定義されたバーコードフォントが追加されていることを確認します。

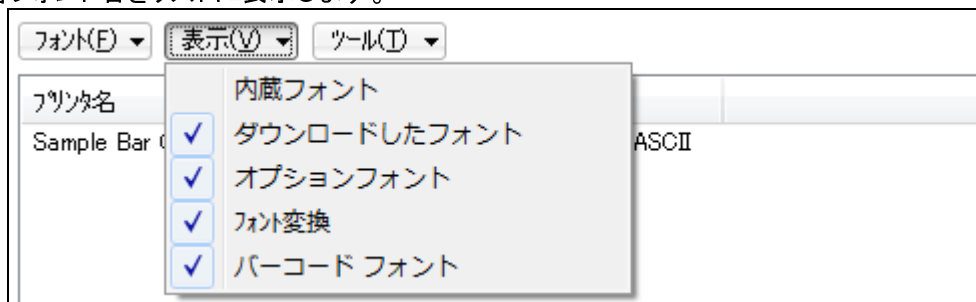


※ 注意

アプリケーションソフトウェアからは、定義済みのバーコードフォント名の先頭に"Citizen-"を追加して呼び出して下さい。

5-2. 表示

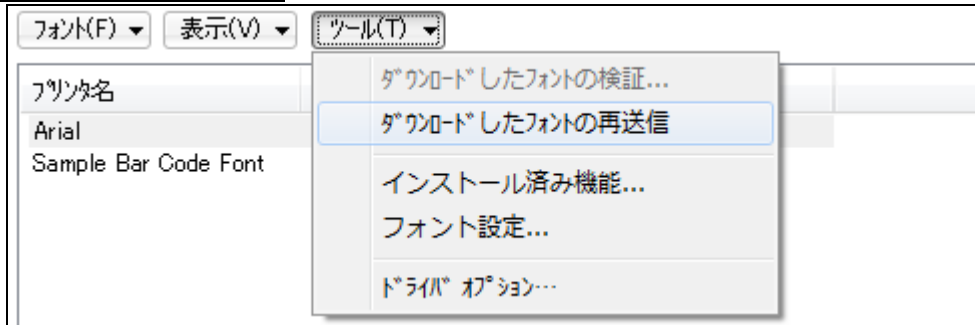
定義された各フォント名をリストに表示します。



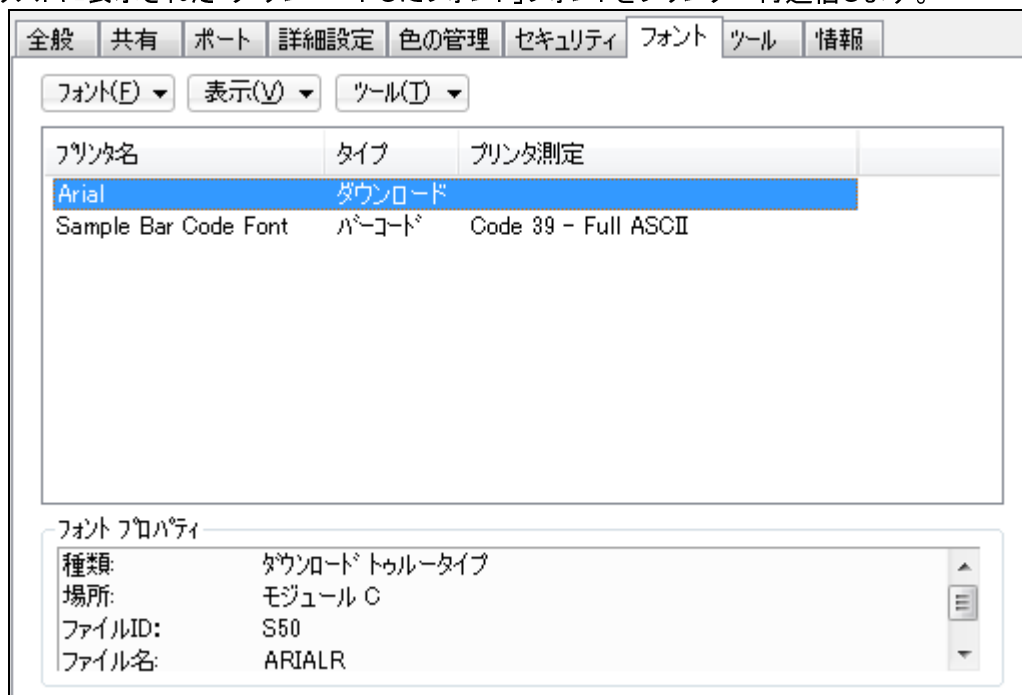
指定項目	内容
プリンタフォント	プリンタフォント、デフォルトのバーコードフォント、バーコードフォントプロパティで追加されたバーコードフォント名をリストに表示します
ダウンロードしたフォント	プリンタへダウンロード済みのフォント名をリストに表示します
オプションフォント	ユーザー定義オプションフォントプロパティで追加されたフォント名を表示します
フォント変換	フォント代替プロパティで追加されたフォント名を表示します
バーコードフォント	デフォルトのバーコードフォント、バーコードフォントプロパティで追加されたバーコードフォント名を表示します

5-3. ツール

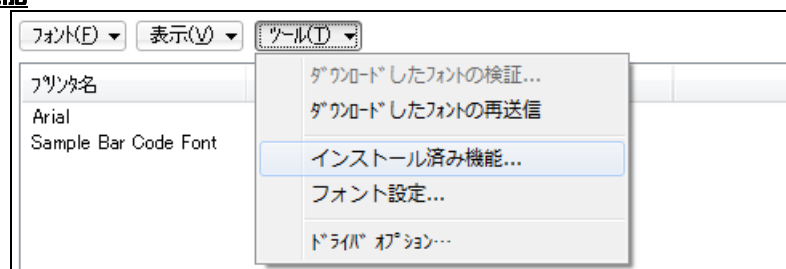
ダウンロードしたフォントの再送信

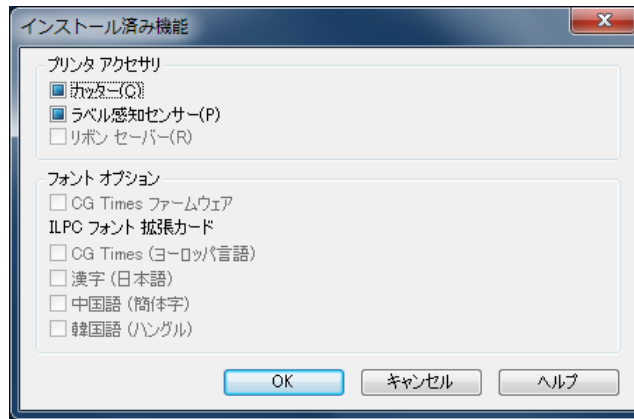


フォントリストに表示された「ダウンロードしたフォント」フォントをプリンタへ再送信します。



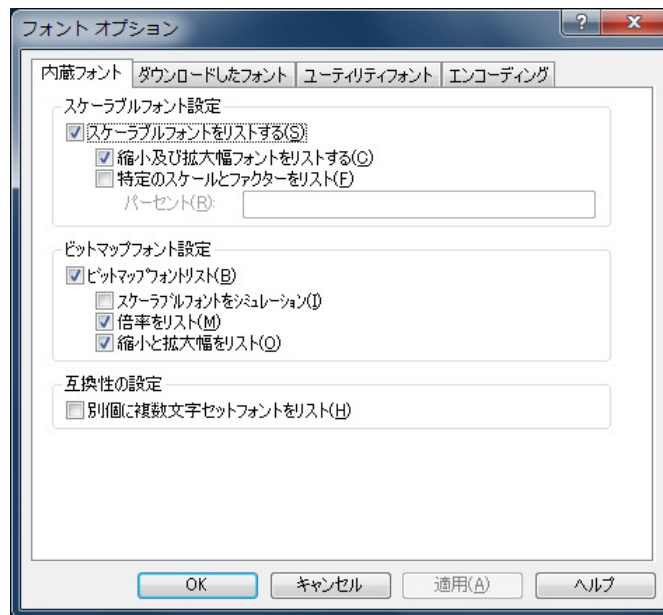
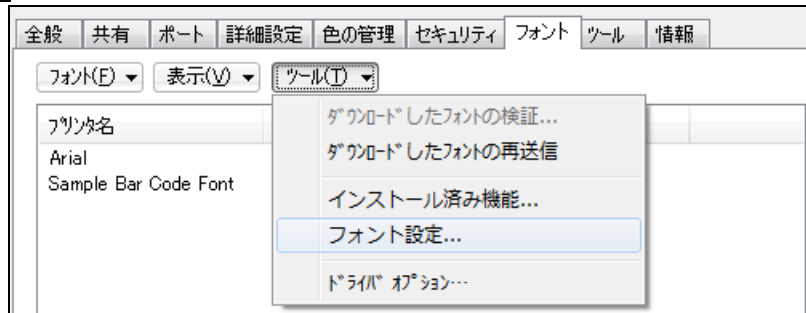
インストール済み機能





通常は変更不要です。

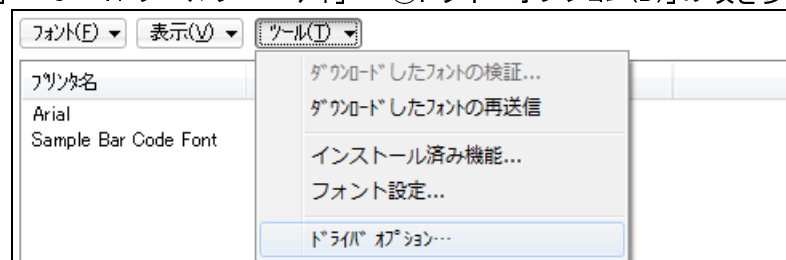
フォントオプション

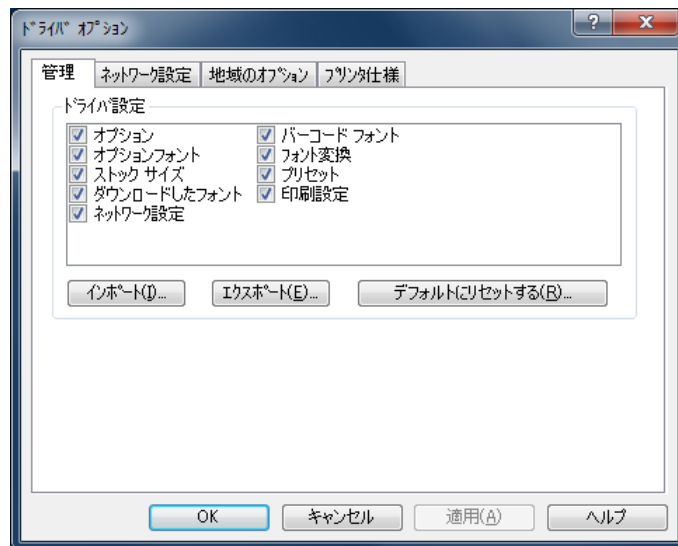


通常は変更不要です。

ドライバオプション

「6. ドライバツール」→「6-1. ツールプロパティ」→「①ドライバオプション(D)」の項を参照下さい。



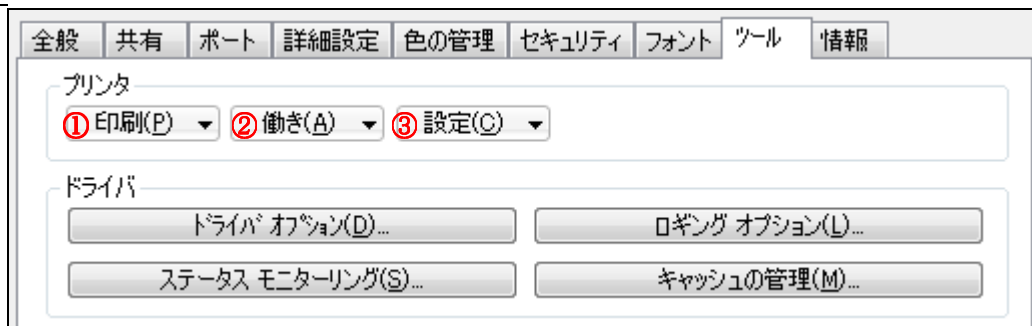


6. ドライバツール

6-1. ツールプロパティ

「ツール」タブを選択するとツールプロパティが表示されます。プリンタのメンテナンスを行なう為のプロパティです。

プリンタ



① 印刷(P)

以下のテストを行ないます。

選択項目	動作
汎用テスト	ボックス罫線の中に「TEST」の文字が印字されます
プリンタテスト	プリントパターンが印字されます
空白ページ	ラベルが1枚空送りされます
設定	プリンタの「マシン情報」および「現在の設定」の一覧が印字されます。

② 働き(A)

以下のテストを行います。

選択項目	動作
フォームフィード	ラベルが一枚空送りされます
切り取り	オートカッターのテストが行えます
プリンタファイルを管理する	未対応
プリンタのリセット	プリンタがリセットされます(電源がOFF/ONされた動作と同等)
出荷時の規定値にリセット	プリンタが工場出荷時の設定に戻されます
プリンタコマンド送信	「プリンタコマンド送信」ダイアログが表示され、プリンタの制御コマンドを直接送信します
ファイルをプリンタに送信	予め作成されたバイナリファイルをプリンタへ送信します

③ 設定(C)

選択項目	内容
プリンタオプション	通常は変更不要です
インストール可能な機能	通常は変更不要です
メモリの設定	ユーザーメモリモジュールの設定を行います ※「5-1. フォントプロパティ」のダウンロードフォントプロパティの項目を併せてご参照下さい。

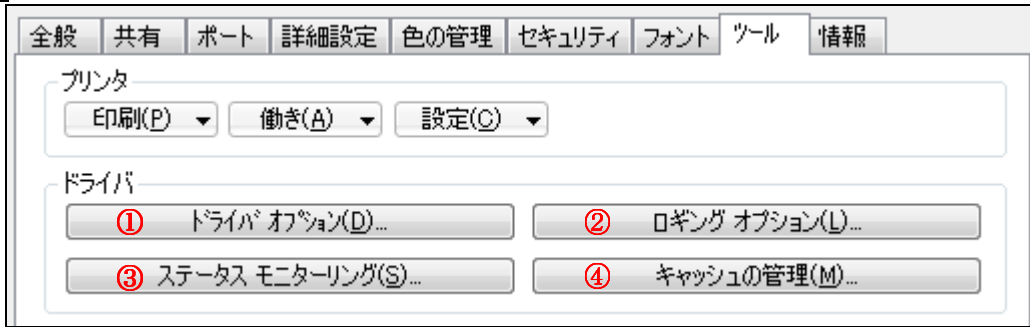
■ メモリの設定

プリンタのメモリモジュールの割当てがデフォルトの状態では、メモリ設定を下表の通りに設定する必要があります。

ドライバ名	メモリ設定
Citizen CLP-520 Citizen CLP-620 Citizen CLP-630 Citizen CL-S400DTJ Citizen CT-S520 Citizen CT-S530 Citizen CT-S620 Citizen CT-S630 Citizen CL-S700J Citizen CL-S703J Citizen CLP-8300	<p>メモリ設定</p> <p>インストール モジュール</p> <p>モジュール A: <インストールされていません></p> <p>モジュール B: <インストールされていません></p> <p>モジュール D: RAM</p> <p>モジュール E: <インストールされていません></p> <p>モジュール G: NVRAM / フラッシュ</p> <p>メモリ割当て</p> <p>RAM モジュール割当て(M): 80 K</p> <p>スケーラブル フォント キャッシュ(S): 60 K</p> <p>ラベルの最大長: <不明> プリンタから読み(B)...</p> <p>OK キャンセル 適用 ヘルプ</p>

ドライバ名	メモリ設定
Citizen CLP-2000 Citizen CLP-7000 Citizen CLP-7200 Citizen CLP-7400	<p>メモリ設定</p> <p>インストール モジュール</p> <p>モジュール A: RAM 512K</p> <p>モジュール B: <インストールされていません></p> <p>モジュール D: <インストールされていません></p> <p>モジュール E: <インストールされていません></p> <p>モジュール G: <インストールされていません></p> <p>メモリ割当て</p> <p>RAM モジュール割当て(M): 80 K</p> <p>スケーラブル フォント キャッシュ(S): 60 K</p> <p>ラベルの最大長: <不明> プリンタから読み(B)...</p> <p>OK キャンセル 適用 ヘルプ</p>

ドライバ

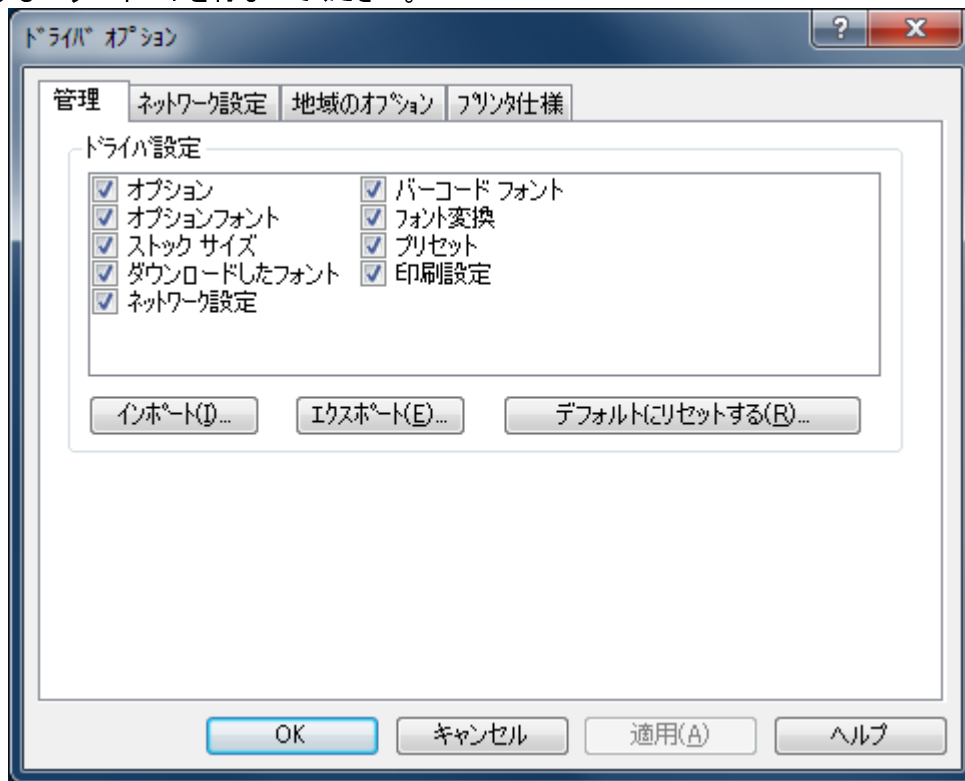


※ ④は通常は使用しません。

① ドライバオプション(D)

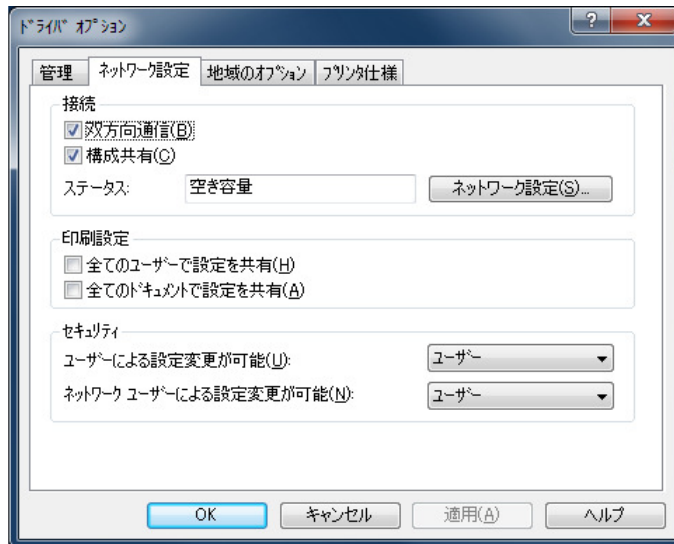
■ 管理

ドライバ設定(プリンタ設定、用紙サイズ、フォント設定などの情報)の保存および復元を行ないます。「インポートおよびエクスポート」の一覧より保存／復元を行ないたい項目にチェックを入れ、インポートおよびエクスポートを行なってください。



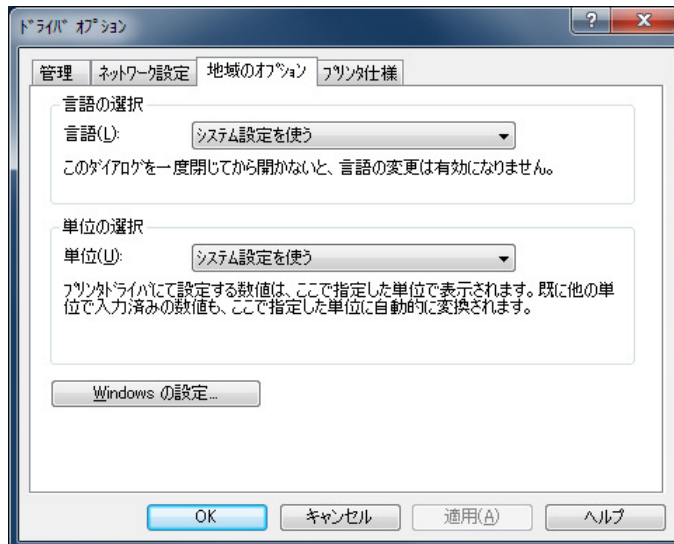
選択項目	動作
インポート(I)	「ファイルを開く」ダイアログより、保存されたSDSファイルを選択し、ドライバ設定を復元します
エクスポート(E)	「名前を付けて保存」ダイアログより、現在のドライバ設定を保存します
デフォルトにリセットする(R)	ドライバの設定をデフォルトに戻します

■ ネットワーク設定



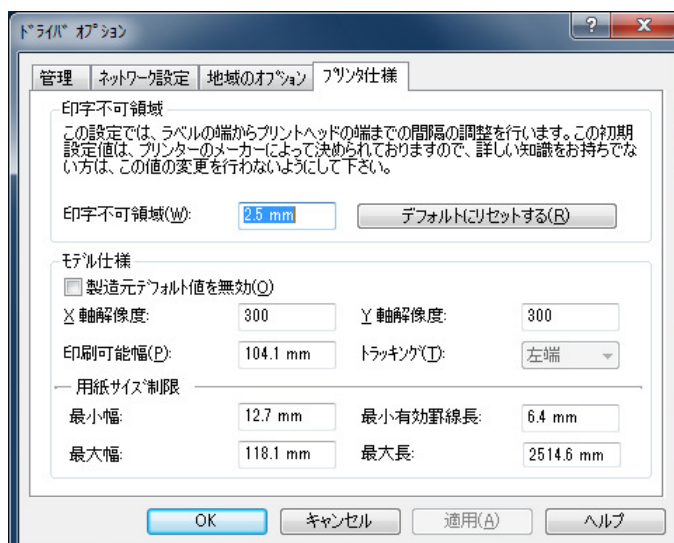
通常は変更不要です。

■ 地域オプション



通常は変更不要です。

■ プリンタ仕様



通常は変更不要です。

② ロギングオプション(L)

ドライバ出力の際のログ作成、および出力データ(バイナリファイル)の記録を行いません。

<ロギング>

■ ログ

CSV およびテキスト形式にて詳細ログを作成します。

「ログ」→「新規ログ」より、ジョブロギングウィザードが起動します。本ウィザードの指示に従い、ログの内容を定義して下さい。



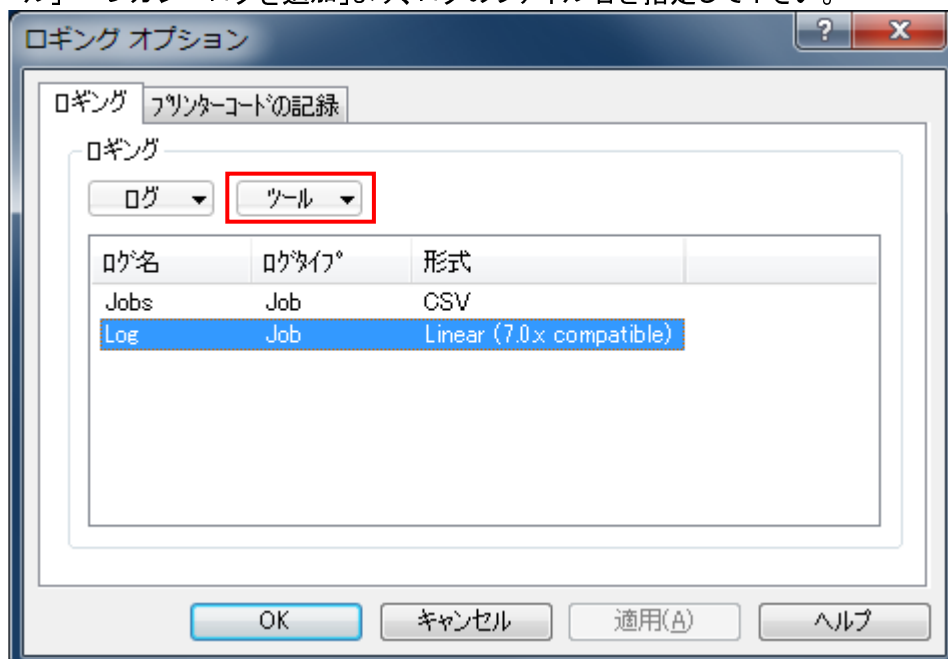
※ 詳細ログの内容

	A	B	C	D	E	F
1	StartTime	EndTime	PrinterName	UserName	ClientName	JobName
2	07/15/09 19:13:25	07/15/09 19:13:25	Citizen CL-S700J	*****	¥¥*****	Printer Test

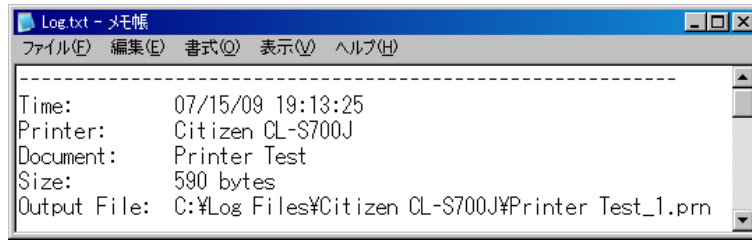
■ ツール

テキスト形式にて簡易ログを作成します。

「ツール」→「レガシーログを追加」より、ログのファイル名を指定して下さい。



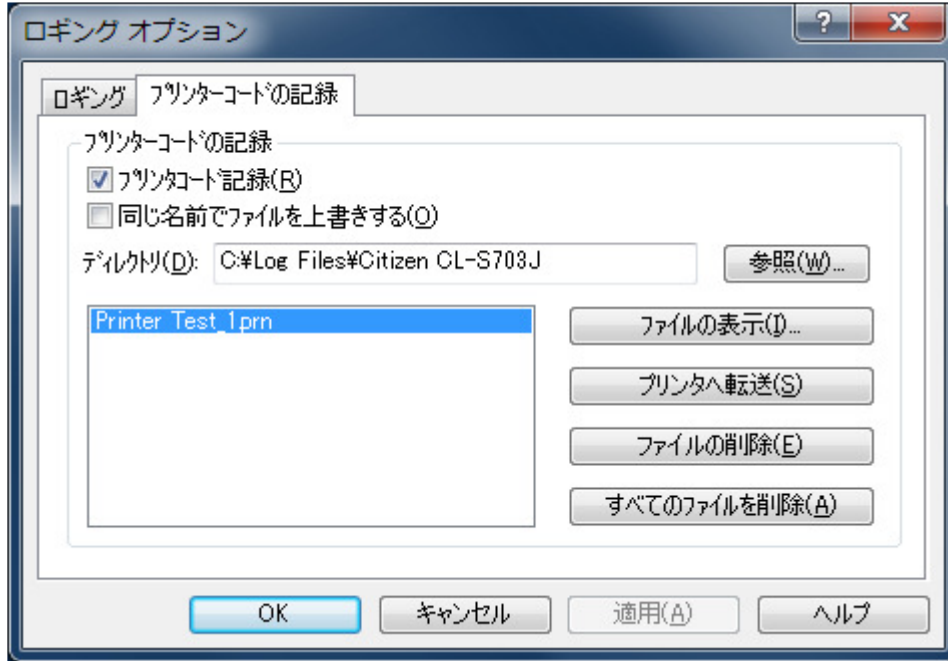
※ 簡易ログの内容



<プリンタコードの記録>

バイナリー形式にて出力データの記録を行いません。

「プリンタコード記録(R)」にチェックを入れ、出力データファイルの保存場所「ディレクトリ(D)」を指定の上、「適用(A)」ボタンを押下します。



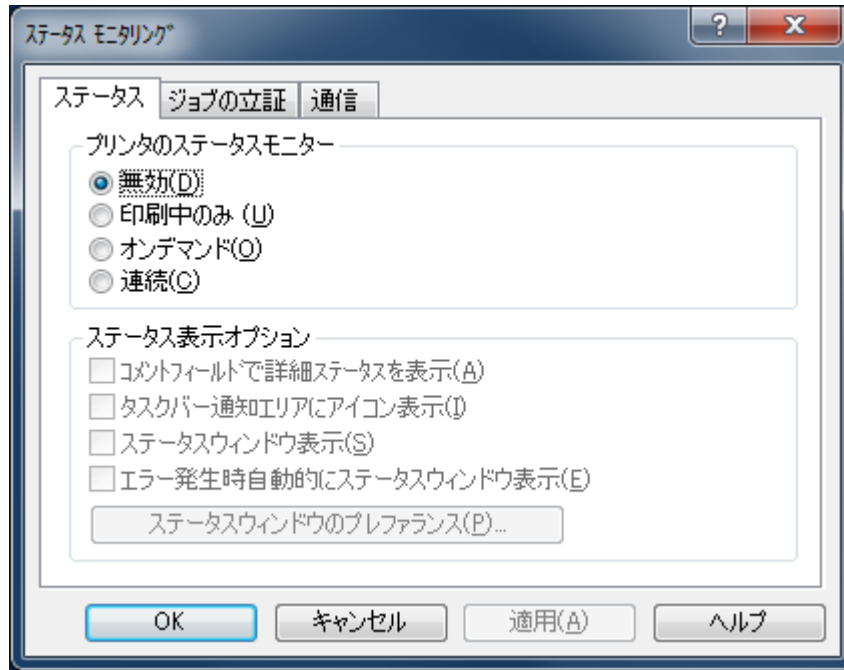
※出力データの内容

#0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F	0123456789ABCDEF	
000000	02	1B	47	30	0D	0A	02	6E	0D	0A	02	4D	31	35	30	30	..GO...n...M1500
000010	0D	0A	02	4F	30	32	31	34	0D	0A	02	56	30	0D	0A	02	...00214...V0...
000020	1B	74	31	0D	0A	02	4B	66	30	30	37	30	0D	0A	02	53	.t1...Kf0070...S
000030	4D	0D	0A	02	4C	0D	0A	44	31	31	0D	0A	50	4D	0D	0A	M...L...D11..PM..
000040	70	4D	0D	0A	53	4D	0D	0A	41	32	0D	0A	31	58	31	31	pM...SM...A2..1X11
000050	30	30	30	30	36	30	30	30	30	30	30	4C	32	30	30	30	0000600000L2000
000060	30	31	0D	0A	31	58	31	31	30	30	30	30	35	30	31	30	01..1X1100005010
000070	32	30	30	4C	30	30	31	31	30	30	0D	0A	31	58	31	31	200L001100..1X11
000080	30	30	30	30	35	30	30	30	30	30	4C	32	30	30	30	30	0000500000L2000
000090	30	31	0D	0A	31	58	31	31	30	30	30	35	30	31	30	30	01..1X1100005010
0000A0	30	30	30	4C	30	30	31	31	30	30	0D	0A	31	58	31	31	000L001100..1X11
0000B0	30	30	30	30	35	39	37	30	30	30	33	4C	31	39	34	30	00005970003L1940
0000C0	30	31	0D	0A	31	58	31	31	30	30	30	35	30	34	30	30	01..1X1100005040
0000D0	31	39	37	4C	30	30	31	30	39	34	0D	0A	31	58	31	31	197L001094..1X11
0000E0	30	30	30	30	35	30	33	30	30	30	33	4C	31	39	34	30	00005030003L1940
0000F0	30	31	0D	0A	31	58	31	31	30	30	30	35	30	34	30	30	01..1X1100005040
000100	30	30	33	4C	30	30	31	30	39	34	0D	0A	31	58	31	31	003L001094..1X11
000110	30	30	30	30	35	37	35	30	30	31	30	4C	30	34	30	30	00005750010L0400
000120	30	35	0D	0A	31	58	31	31	30	30	30	35	32	31	30	30	05..1X1100005210
000130	30	32	38	4C	30	30	35	30	36	30	0D	0A	31	58	31	31	028L005060..1X11
000140	30	30	30	30	35	37	35	30	30	36	30	4C	30	33	35	30	00005750060L0350
000150	30	35	0D	0A	31	58	31	31	30	30	30	35	34	38	30	30	05..1X1100005480
000160	30	36	30	4C	30	33	30	30	30	35	0D	0A	31	58	31	31	060L030005..1X11
000170	30	30	30	30	35	32	31	30	30	36	30	4C	30	33	35	30	00005210060L0350
000180	30	35	0D	0A	31	58	31	31	30	30	30	35	32	31	30	30	05..1X1100005210
000190	30	36	31	4C	30	30	35	30	36	30	0D	0A	31	58	31	31	061L005060..1X11
0001A0	30	30	30	30	35	37	35	30	31	30	35	4C	30	33	35	30	00005750105L0350
0001B0	30	35	0D	0A	31	58	31	31	30	30	30	35	34	38	30	30	05..1X1100005480
0001C0	31	30	35	4C	30	33	35	30	30	35	0D	0A	31	58	31	31	105L035005..1X11
0001D0	30	30	30	30	35	32	31	30	31	30	35	4C	30	33	35	30	00005210105L0350
0001E0	30	35	0D	0A	31	58	31	31	30	30	30	35	34	38	30	30	05..1X1100005480
0001F0	31	30	35	4C	30	30	35	30	33	33	0D	0A	31	58	31	31	105L005033..1X11
000200	30	30	30	30	35	32	31	30	31	33	35	4C	30	30	35	30	00005210135L0050
000210	33	33	0D	0A	31	58	31	31	30	30	30	35	37	35	30	30	33..1X1100005750
000220	31	35	30	4C	30	34	30	30	30	35	0D	0A	31	58	31	31	150L040005..1X11
000230	30	30	30	30	35	32	31	30	31	36	38	4C	30	30	35	30	00005210168L0050
000240	36	30	0D	0A	51	30	30	30	31	0D	0A	45	0D	0A	0A	0A	60..00001..E..

本ファイルを開くには、バイナリエディタ等をご使用下さい。

③ ステータスマonitoring(S)

プリンタの状態を監視する際に設定します。



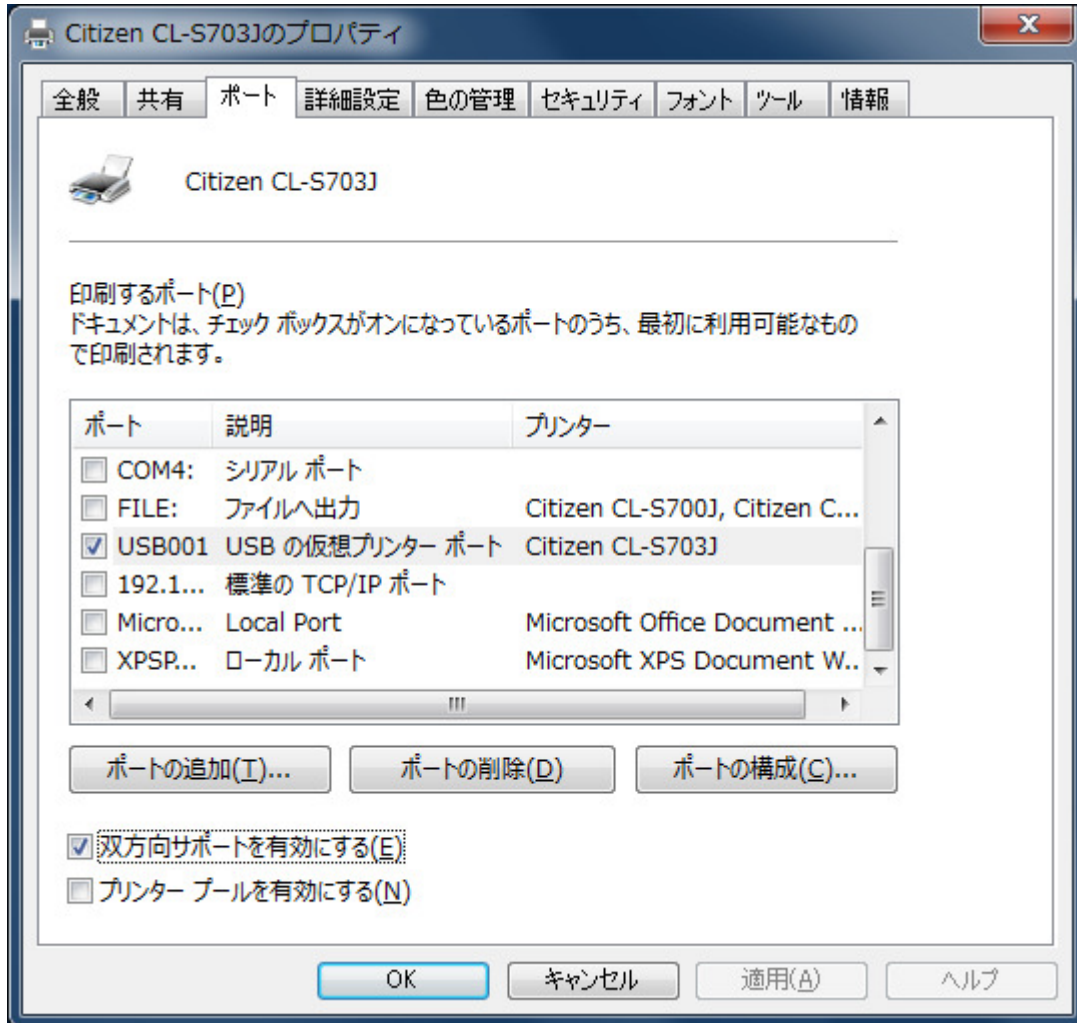
■ プリンタのステータスマonitor

選択項目	動作
無効(D)	プリンタの状態監視を無効にします(デフォルト)
印刷中のみ(U)	印刷中のみプリンタの状態を監視します
オンデマンド(O)	ステータスウィンドウや通知アイコンなどのクライアントアプリケーションが起動している時のみプリンタの状態を監視します
連続(C)	常にプリンタの状態を監視します

■ ステータス表示オプション

選択項目	表示
コメントフィールドで詳細ステータスを表示(A)	
タスクバー通知エリアにアイコン表示(I)	
ステータスウィンドウ表示(S)	
エラー発生時自動的にステータスウィンドウ表示(E)	
ステータスウィンドウのプレファランス(P)	常に先頭(A) 選択時 タイトルバーを隠す(H) 選択時

尚、本機能を使用する際は、ドライバプロパティの「ポート」タブより、[双方向サポートを有効にする(E)]にチェックを入れて下さい。



7. アプリケーションからの印刷

7-1. プリンタフォントリスト

使用可能なプリンタフォントおよびそのプリンタフォントに対するフォントサイズは下表の通りです。

203DPI モデル

ドライバ名	フォント名	フォントサイズ
Citizen CLP-2000 Citizen CLP-7000 Citizen CLP-7200 Citizen CLP-520 Citizen CLP-620 Citizen CL-S400DTJ Citizen CL-S520 Citizen CL-S620 Citizen CL-S700	Citizen CG Triumvirate	6/8/10/12/14/18/24/30/36/48/59.5/72/96.5/144
	Citizen CG Triumvirate (Cond.)	12/16.5/20/24/27.5/36/48/59.5/71.5/96.5/144
	Citizen CG Triumvirate (Exp.)	6/8/10/12/14/18/24/30/36/48/59.5/72
	Citizen Font 0	2.5/5/7.5/10/12.5
	Citizen Font 0 (Cond.)	5/10/15/20
	Citizen Font 0 (Exp.)	2.5/5/7.5
	Citizen Font 1	4.5/9/14/18.5/23
	Citizen Font 1 (Cond.)	9/18.5/27.5/37
	Citizen Font 1 (Exp.)	4.5/9/14
	Citizen Font 2	6.5/13/19/25.5/32
	Citizen Font 2 (Cond.)	13/25.5/38.5/51
	Citizen Font 2 (Exp.)	6.5/13/19
	Citizen Font 3	9.5/19/28.5/38.5/48
	Citizen Font 3 (Cond.)	19/38.5/57.5/76.5
	Citizen Font 3 (Exp.)	9.5/19/28.5
	Citizen Font 4	13/25.5/38.5/51/64
	Citizen Font 4 (Cond.)	25.5/51/76.5/102
	Citizen Font 4 (Exp.)	13/25.5/38.5
	Citizen Font 5	18.5/37/55.5/74/92
	Citizen Font 5 (Cond.)	37/74/110.5/147.5
Citizen Font 5 (Exp.)	18.5/37/55.5	
Citizen Font 6	22.5/45.5/68/91/113.5	
Citizen Font 6 (Cond.)	45.5/91/136/181.5	
Citizen Font 6 (Exp.)	22.5/45.5/68	
Citizen Kanji	5.5/8.5/11.5/17/22.5/34/51/68/85	

300DPI モデル

ドライバ名	フォント名	フォントサイズ
Citizen CL-S530 Citizen CLP-630 Citizen CL-S630 Citizen CL-S703 Citizen CLP-8300	Citizen CG Triumvirate	6/8/10/12/14/18/24/30/36/48/59.5/72/96.5/144
	Citizen CG Triumvirate (Cond.)	12/16.5/20/24/27.5/36/48/59.5/71.5/96.5/144
	Citizen CG Triumvirate (Exp.)	6/8/10/12/14/18/24/30/36/48/59.5/72
	Citizen Font 0	2.5/5/7/9.5/12
	Citizen Font 0 (Cond.)	5/9.5/14.5/19
	Citizen Font 0 (Exp.)	2.5/5/7
	Citizen Font 1	4.5/9/13.5/18/23
	Citizen Font 1 (Cond.)	9/18/27.5/36.5
	Citizen Font 1 (Exp.)	4.5/9/13.5
	Citizen Font 2	6.5/13/19.5/26/32.5
	Citizen Font 2 (Cond.)	13/26/39/52
	Citizen Font 2 (Exp.)	6.5/13/19.5
	Citizen Font 3	9.5/19/29/38.5/48
	Citizen Font 3 (Cond.)	19/38.5/57.5/77

	Citizen Font 3 (Exp.)	9.5/19/29
	Citizen Font 4	14.5/29/43/57.5/72
	Citizen Font 4 (Cond.)	29/57.5/86.5/115
	Citizen Font 4 (Exp.)	14.5/29/43
	Citizen Font 5	18.5/37/55.5/74/92.5
	Citizen Font 5 (Cond.)	37/74/111/148
	Citizen Font 5 (Exp.)	18.5/37/55.5
	Citizen Font 6	23/45.5/68.5/91/114
	Citizen Font 6 (Cond.)	45.5/91/137/182.5
	Citizen Font 6 (Exp.)	23/45.5/68.5
	Citizen Kanji	6/7.5/11.5/15.5/23/34.5/46/57.5

406DPI モデル

ドライバ名	フォント名	フォントサイズ
Citizen CLP-7400	Citizen CG Triumvirate	3.5/4/5/6/8/10/12/14/18/24/30/36/48/60/72/96
	Citizen CG Triumvirate (Cond.)	7/8/10.5/12/15.5/20/24/28/36/48/60/72/96
	Citizen CG Triumvirate (Exp.)	3.5/4/5/6/8/10/12/14/18/24/30/36/48
	Citizen Font 0	2.5/5/7.5/10/12.5
	Citizen Font 0 (Cond.)	5/10/15/20
	Citizen Font 0 (Exp.)	2.5/5/7.5
	Citizen Font 1	4.5/9/14/18.5/23
	Citizen Font 1 (Cond.)	9/18.5/27.5/37
	Citizen Font 1 (Exp.)	4.5/9/14
	Citizen Font 2	6.5/13/19.5/26/33
	Citizen Font 2 (Cond.)	13/26/39.5/52.5
	Citizen Font 2 (Exp.)	6.5/13/19.5
	Citizen Font 3	10/19.5/29.5/39/49
	Citizen Font 3 (Cond.)	19.5/39/58.5/78
	Citizen Font 3 (Exp.)	10/19.5/29.5
	Citizen Font 4	14/28.5/43/57.5/72
	Citizen Font 4 (Cond.)	28.5/57.5/86/115
	Citizen Font 4 (Exp.)	14/28.5/43
	Citizen Font 5	18.5/37/55.5/74/92
	Citizen Font 5 (Cond.)	37/74/110.5/147.5
	Citizen Font 5 (Exp.)	18.5/37/55.5
	Citizen Font 6	22.5/45.5/68/91/113.5
	Citizen Font 6 (Cond.)	45.5/91/136/181.5
Citizen Font 6 (Exp.)	22.5/45.5/68	
Citizen Kanji	3/4.5/5.5/8.5/11.5/17/25.5/34/42.5	

7-2. プリンタバーコードフォントリスト

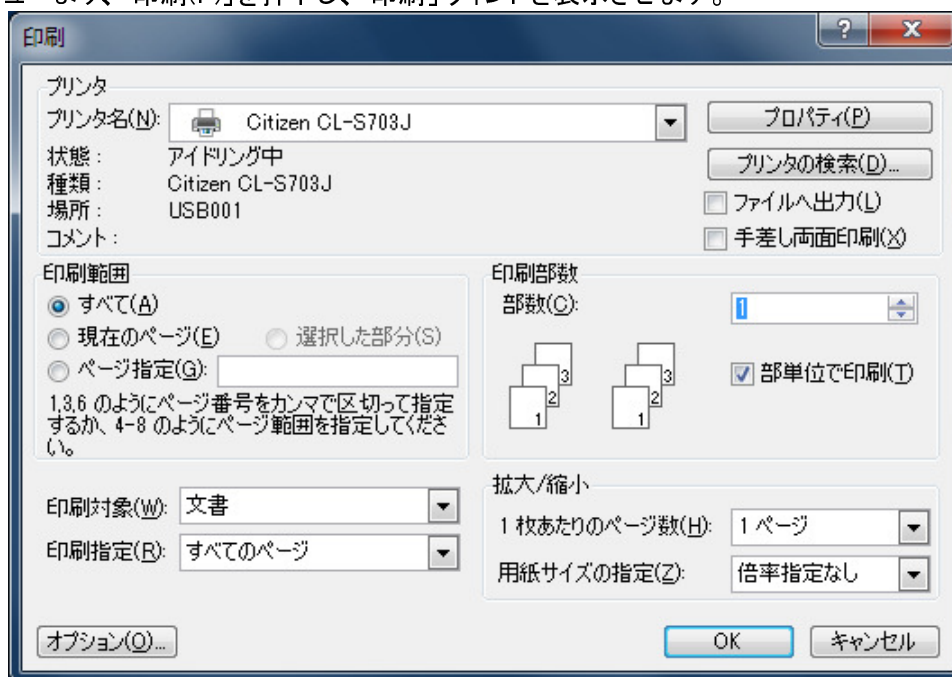
使用可能なプリンタバーコード種およびそのプリンタバーコードフォントに対するフォントサイズは下表の通りです。

ドライバ名	バーコード種	フォントサイズ
<203DPI モデル>	Aztec Code	8/9/10/11/12/14/16/18/20/22/24/26/ 28/36/48/72
Citizen CLP-2000	Code 39 - Full ASCII	
Citizen CLP-7000	Code 39 - Regular	
Citizen CLP-7200	Code 93	
Citizen CLP-520	Code 128	
Citizen CLP-620	Codabar	
Citizen CL-S400DTJ	Composite (EAN,UCC)	
Citizen CL-S520	DataMatrix	
Citizen CL-S530	EAN/JAN-8	
Citizen CL-S620	EAN/JA-13	
Citizen CL-S630	EAN/JAN/UPC 2-digit Supplemental	
Citizen CL-S700J	EAN/JAN/UPC 5-digit Supplemental	
<300DPI モデル>	Interleaved 2-of-5(ITF)	
Citizen CLP-630	GS1 Composite	
Citizen CL-S630	GS1 DataBar(RSS)	
Citizen CL-S703J	MaxiCode	
Citizen CLP-8300	PDF417	
<4006DPI モデル>	QR CODE	
Citizen CLP-7400	Telepen	
	UPC-A	
	UPC-E	

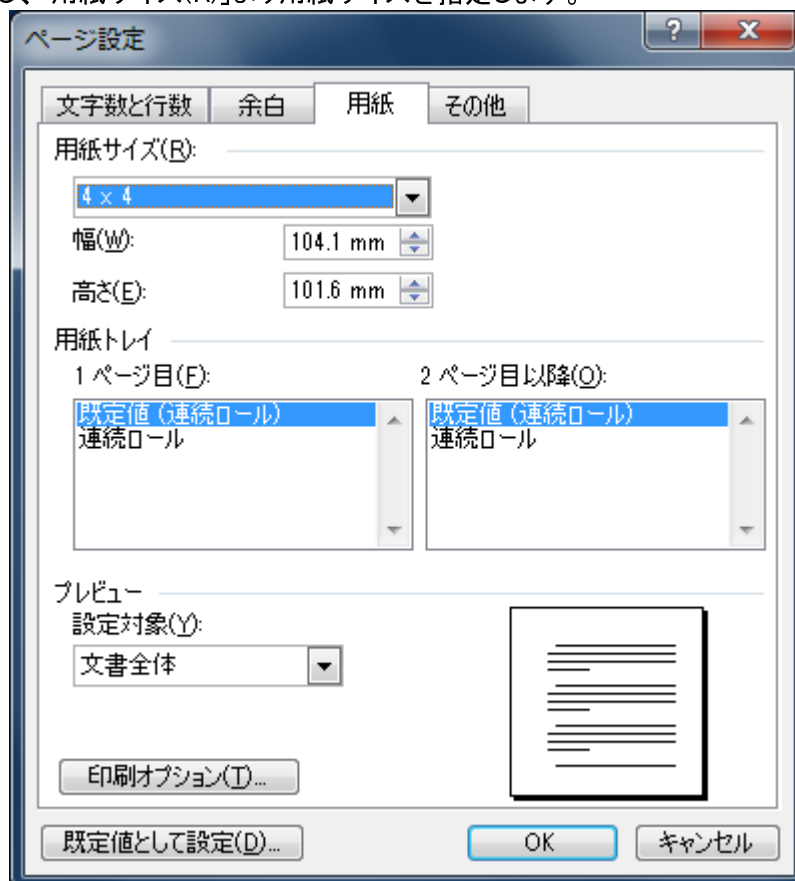
7-3. Microsoft Word からの印刷

以下は、Microsoft Word 2003 使用しての印刷例です。

1. ファイルメニューより、「印刷(P)」を押下し、「印刷」ウインドを表示させます。



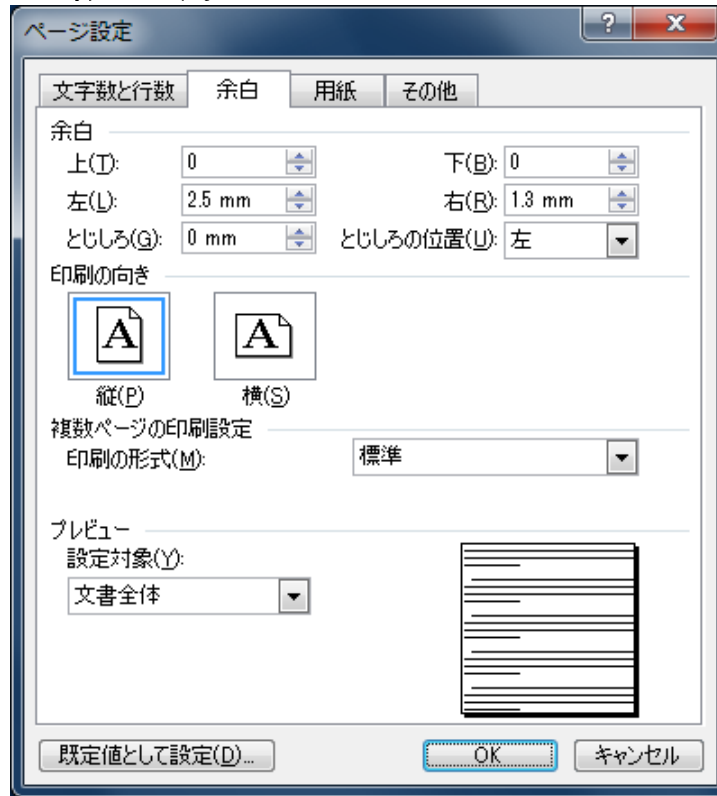
2. 「プリンタ」項目内の「プリンタ名(N)」より、プリンタを選択し、「閉じる」ボタンを押下します。
3. ファイルメニューより、「ページ設定(U)」を押下し、「ページ設定」ウインドを表示させます。
4. 「用紙タブ」を押下し、「用紙サイズ(R)」より用紙サイズを指定します。



5. 「余白」タブを押下し、各余白を設定します。

※ 余白を0にすると、“余白が印刷できない領域に設定されています”というメッセージ表示されます。「修正」ボタンを押下すると自動で最小の余白に設定されます。

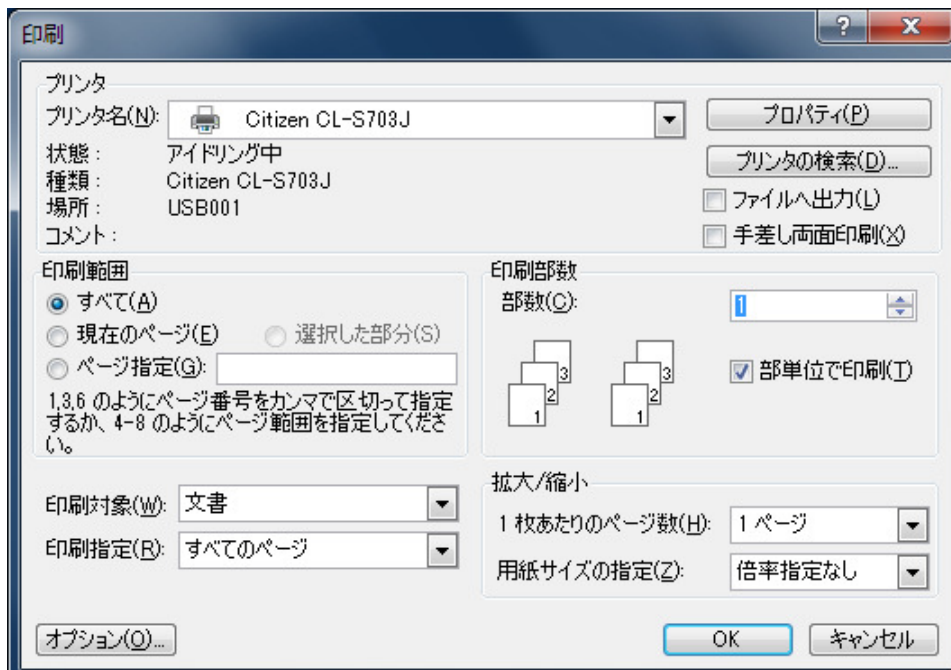
上記設定後、「OK」ボタンを押下します。



6. フォントリストより、「7-1. プリンタフォントリスト」を参考にプリンタフォントを選択し、文書に任意のテキストを入力します。

7. フォントサイズリストより、「7-2. プリンタバーコードフォントリスト」を参考にフォントサイズを選択し、文書に任意のテキストを入力します。

8. ファイルメニューより、「印刷(P)」を押下し、「印刷」ウィンドを表示させます。「OK」ボタンを押下すると印刷が開始します。



7-4. Microsoft Visual Basic サンプルプログラム

以下は、Microsoft Visual Basic 6.0 のサンプルソースです。

```

' //////////////////////////////////////
' VB6.0 Sample Program
' //////////////////////////////////////
' -----
' プリンタのオブジェクトハンドルを取得する関数の宣言
' -----
Public Declare Function OpenPrinter Lib "winspool.drv" _
    Alias "OpenPrinterA" _
    (ByVal pPrinterName As String, _
    phPrinter As Long, _
    pDefault As Any) As Long
' -----
' プリンタの印刷ジョブを列挙する関数の宣言
' -----
Public Declare Function EnumJobs Lib "winspool.drv" _
    Alias "EnumJobsA" _
    (ByVal hPrinter As Long, _
    ByVal FirstJob As Long, _
    ByVal NoJobs As Long, _
    ByVal Level As Long, _
    pJob As Any, _
    ByVal cdBuf As Long, _
    pcbNeeded As Long, _
    pcReturned As Long) As Long
' -----
' プリンタのオブジェクトハンドルを破棄する関数の宣言
' -----
Public Declare Function ClosePrinter Lib "winspool.drv" _
    (ByVal hPrinter As Long) As Long
' //////////////////////////////////////
' メイン
' //////////////////////////////////////
Private Sub Form_Load()
' -----
' 変数宣言
' -----
    Dim Result As Long ' 戻り値格納用変数
' -----
' ステータス取得
' -----
    GetPrinterStatus("Citizen CL-S700J")
' -----
' 編集開始
' -----
    Result = EditPint("Citizen CL-S700J", 1)
' -----
' 印刷開始
' -----
    If Result = 0 Then
        Call StartPrint
    End If
End Sub

```

```

' ////////////////////////////////////////////////////////////////////
' 編集開始ルーチン
' ////////////////////////////////////////////////////////////////////
Function EditPrint(strPrinterName As String, lngPrintCount As Long)
'
'-----
' 変数宣言
'-----
    Dim DefaultPrinter As Printer ' デフォルトプリンタ格納用変数
    Dim Result          As Long   ' 戻り値格納用変数
'-----
' エラー処理ルーチン
'-----
    On Error GoTo ErrorHandler
'-----
' デフォルトプリンタに設定
'-----
    For Each DefaultPrinter In Printers
        If DefaultPrinter.DeviceName = strPrinterName Then
            Set Printer = DefaultPrinter
            Exit For
        End If
    Next
'-----
' 発行枚数の指定
'-----
    With Printer
        .Copies = lngPrintCount
'-----
' スムースフォントを指定
'-----
        .Font = "Citizen CG Triumvirate"
        .FontSize = 20
        .CurrentX = 100
        .CurrentY = 100
        Printer.Print "CITIZEN Smoothing Font 1234567"
'-----
' ビットマップグラフィック ("Image1.bmp") を指定
'-----
        .PaintPicture LoadPicture(App.Path & "¥Image1.bmp"), _
            CurrentX + 1000, _
            CurrentY + 1500
'-----
' 罫線を指定
'-----
        .CurrentX = 100
        .CurrentY = 4100
        Printer.Line -Step(5500, 10), , BF
'-----
' 漢字フォントを指定
'-----
        .Font = "Citizen Kanji"
        .FontSize = "11.5"
        .CurrentX = 1100
        .CurrentY = 4200

```

```

Printer.Print "シチズン・システムズ株式会社"
'
-----
' ビットマップフォントを指定
'
-----
        .Font = "Citizen Font 3"
        .FontSize = "12"
        .FontSize = "9.5"
        .CurrentX = 1500
        .CurrentY = 4200
Printer.Print "www.citizen-systems.co.jp"
'
-----
' プリンタバーコードを指定
'
-----
        .Font = "Citizen-Sample Bar Code Font"
        .FontSize = "24"
        .CurrentX = 800
        .CurrentY = 4700
Printer.Print "123456789"
'
-----
' True Type Font を指定
'
-----
        .Font = "MS UI Gothic"
        .FontSize = "10.5"
        .CurrentX = 1000
        .CurrentY = 5500
Printer.Print "Printend by CITIZEN Barcode Label Printer."
End With
'
-----
' 戻り値
'
-----
Exit_Sample:
    EditPrint = Result
    Exit Function
'
-----
' エラーハンドラー
'
-----
ErrorHandler:
    MsgBox Err.Description & vbCrLf & _
        "ErrCode: " & Err.Number, _
        vbCritical, _
        "Sample"
    Result = Err.Number
    Resume Exit_Sample
End Function
'
////////////////////////////////////
' 印刷開始ルーチン
'
////////////////////////////////////
Sub StartPrint()
'
-----
' 編集終了および印刷開始
'
-----
Printer.EndDoc
End Sub

```

```

' ////////////////////////////////////////////////////////////////////
' プリンタステータス監視ルーチン
' ////////////////////////////////////////////////////////////////////
Sub GetPrinterStatus(strPrinterName As String)
    Dim strPrinterDeviceName As String
    Dim udtPrinterDefaults As PRINTER_DEFAULTS
    Dim lngPrinterHandle As Long
    Dim lngJobInfo1FirstJob As Long
    Dim lngJobInfo1EnumerateJob As Long
    Dim lngJobInfo1Level As Long
    Dim lngJobInfo1Needed As Long
    Dim lngJobInfo1Returned As Long
    Dim bytJobInfo1Buffer () As Byte
    Dim udtJobInfo1 () As JOB_INFO_1
    Dim bytPortNameBuffer (63) As Byte
    Dim lngJobInfo1Count As Long
    Dim strJobInfo1Document As String * 64
    Dim lngResult As Long

    -----
' リストビューを初期化
    ListView1.ListItems.Clear

    -----
' プリンタ名を指定
    strPrinterDeviceName = strPrinterName

    -----
' プリンタアクセス権を指定
    udtPrinterDefaults.DesiredAccess = PRINTER_ALL_ACCESS

    -----
' プリンタのオブジェクトハンドルを取得
    lngResult = OpenPrinter( strPrinterDeviceName, lngPrinterHandle, udtPrinterDefaults)

    -----
' 最初に列挙する印刷ジョブを指定
    lngJobInfo1FirstJob = 0

    -----
' 列挙する印刷ジョブの総数を指定
    lngJobInfo1EnumerateJob = 99

    -----
' 構造体のレベルを指定
    lngJobInfo1Level = 1

    -----
' バッファに必要なサイズを取得
    lngResult = EnumJobs( lngPrinterHandle, _
        lngJobInfo1FirstJob, _
        lngJobInfo1EnumerateJob, _
        lngJobInfo1Level, _
        ByVal vbNullString, _

```

```

0, _
    lngJobInfo1Needed, _
    lngJobInfo1Returned)
'-----
' 印刷ジョブが取得できないときは
'-----
    If lngJobInfo1Needed <= 0 Then
        With ListView1.ListItems.Add()
            .Text = ""
        End With
        ' 取得できないときの終了処理へ分岐
        lngResult = ClosePrinter(lngPrinterHandle)
        Unload Me
        Exit Sub
    End If
'-----
' バッファを確保
'-----
    ReDim bytJobInfo1Buffer(lngJobInfo1Needed - 1)
'-----
' 印刷ジョブ情報を取得
'-----
    lngResult = EnumJobs(lngPrinterHandle, _
        lngJobInfo1FirstJob, _
        lngJobInfo1EnumerateJob, _
        lngJobInfo1Level, _
        bytJobInfo1Buffer(0), _
        lngJobInfo1Needed, _
        lngJobInfo1Needed, _
        lngJobInfo1Returned)
'-----
' 取得した印刷ジョブ情報の構造体を確保
'-----
    ReDim udtJobInfo1(lngJobInfo1Returned - 1)
'-----
' 取得した印刷ジョブ情報を構造体へ移動
'-----
    MoveMemory udtJobInfo1(0), _
        bytJobInfo1Buffer(0), _
        Len(udtJobInfo1(0)) * lngJobInfo1Returned
'-----
' バッファに印刷ジョブ情報がある間は
'-----
    For lngJobInfo1Count = 0 To lngJobInfo1Returned - 1
        ' 印刷ジョブ情報を列挙
        With ListView1.ListItems.Add()
            ' ドキュメント名を複製
            MoveMemory ByVal strJobInfo1Document, _
                ByVal udtJobInfo1 _
                    (lngJobInfo1Count).pDocument, _
                Len(strJobInfo1Document)
            ' ドキュメント名を表示
            .Text = Left(strJobInfo1Document, _
                lngJobInfo1Count)
        End With
    End For

```

```

        vbNullChar) - 1)
    ' 状態を表示
    If udtJobInfo1(IngJobInfo1Count).Status And _
        JOB_STATUS_PAUSED Then _
        .SubItems(1) = .SubItems(1) & "一時停止_"
    If udtJobInfo1(IngJobInfo1Count).Status And _
        JOB_STATUS_ERROR Then _
        .SubItems(1) = .SubItems(1) & "エラー_"
    If udtJobInfo1(IngJobInfo1Count).Status And _
        JOB_STATUS_DELETING Then _
        .SubItems(1) = .SubItems(1) & "削除中_"
    If udtJobInfo1(IngJobInfo1Count).Status And _
        JOB_STATUS_SPOOLING Then _
        .SubItems(1) = .SubItems(1) & "スプール_"
    If udtJobInfo1(IngJobInfo1Count).Status And _
        JOB_STATUS_PRINTING Then _
        .SubItems(1) = .SubItems(1) & "印刷中_"
    If udtJobInfo1(IngJobInfo1Count).Status And _
        JOB_STATUS_OFFLINE Then _
        .SubItems(1) = .SubItems(1) & "オフライン_"
    If udtJobInfo1(IngJobInfo1Count).Status And _
        JOB_STATUS_PAPEROUT Then _
        .SubItems(1) = .SubItems(1) & "用紙切れ_"
    If udtJobInfo1(IngJobInfo1Count).Status And _
        JOB_STATUS_PRINTED Then .SubItems(1) = _
        .SubItems(1) & "完了_"
    If udtJobInfo1(IngJobInfo1Count).Status And _
        JOB_STATUS_DELETED Then _
        .SubItems(1) = .SubItems(1) & "削除_"
    If udtJobInfo1(IngJobInfo1Count).Status And _
        JOB_STATUS_BLOCKED_DEVQ Then _
        .SubItems(1) = .SubItems(1) & "ドライバ不正_"
    If udtJobInfo1(IngJobInfo1Count).Status And _
        JOB_STATUS_USER_INTERVENTION Then _
        .SubItems(1) = .SubItems(1) & "機器不良_"
    If udtJobInfo1(IngJobInfo1Count).Status And _
        JOB_STATUS_RESTART Then _
        .SubItems(1) = .SubItems(1) & "再起動中_"

    End With
    Next IngJobInfo1Count
    -----
    ' プリンタオブジェクトをクローズ
    -----

    IngResult = ClosePrinter(IngPrinterHandle)
End Sub

```

